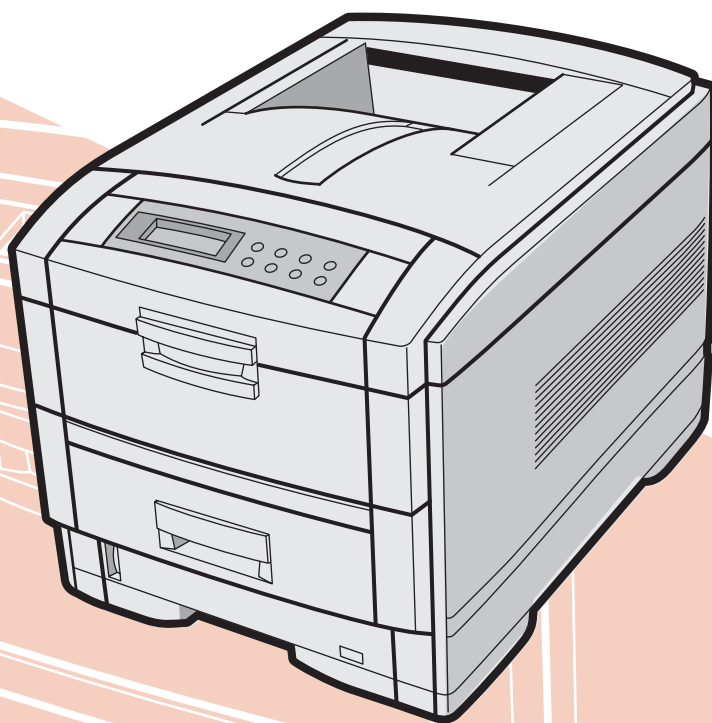
OKI

オキカラーページプリンタ

MICROLINE 7300

ユーザーズマニュアル
（セットアップ編）

◯このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
◯本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル（本書）をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。 高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。

⚠警告

	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 7300 → ML7300
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0、の総称→ Windows

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　　刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
　　　　　　通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

MICROLINEは株式会社沖データの商標です。
Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
平成明朝体、平成角ゴシック体は、(財)日本規格協会　文字フォント開発·普及センターと使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
その他各社名、製品名は各社の登録商標または商品名です。

本書について

1.本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2.本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4.本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様がプリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読み下さい。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ（以下「沖データ」といいます）は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア（ただし、Adobe Acrobat Reader は除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます）を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1. 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを一部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのサプライヤーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2) 第 1 条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1) 沖データは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 契約の有効性
本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

7. 輸出管理
本ソフトウェアは、日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。お客様は、適切な日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

8. 完全な合意
お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本件ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※ Adobe Acrobat Reader の使用について
Acrobat Reader は沖データがアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Acrobat Readerに含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステム社からAcrobat Readerの使用を許諾されることになります。

目　次

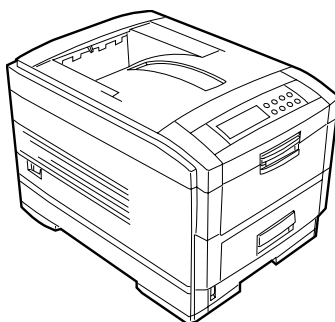
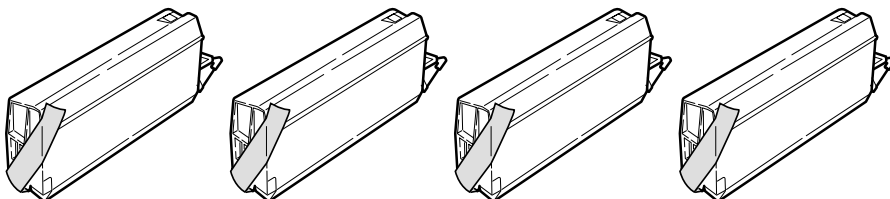
1 プリンタを設置します

製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	

このプリンタは重量が約 47.5Kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。

□ プリンタ（本体）

□ トナーカートリッジ（4 個）

□ プリンタソフトウェア CD-ROM
□ LED レンズクリーナ
□ 黒いビニール袋（4 枚）
□ 電源コード
□ 保証書・ご愛用者登録カード
□ ユーザーズマニュアル(セットアップ編)(本書)
□ ユーザーズマニュアル(リファレンス編)
□ ユーザーズマニュアル(ネットワーク編)

□ クイックガイド
□ クイックガイド専用袋
□ イーサネットケーブル用コア

- プリンタケーブルは添付されていません。お使いのコンピュータに合わせて別途用意してください。
- イメージドラムカートリッジ、ペーパーサイズプレートはプリンタ内部にセットされています。
- 梱包箱、緩衝材はプリンタを輸送するときに使います。捨てずに保管してください。

MICROLINE プリンタの特長

600DPIの高画質

シングルパスカラー方式のメリットを最大限に活かすため、発光ダイオードを集合した4連LEDヘッドを搭載。600DPI の高解像度、高画質を実現しています。

PCL5cを搭載

ビジネスオフィスアプリケーションに最適な PCL5c 言語を搭載しています。

アウトラインフォントを内蔵

日本語 2 書体と欧文 80 書体のアウトラインフォントを内蔵しています。

高速印刷

印刷制御部にPowerPC750プロセッサを採用。印刷処理を高速に行うことができます。4連LEDヘッドを使用したシングルパスカラー方式で印刷することによりA4用紙（A4縦送り、片面印刷時）をカラー印刷では最大20枚/分（コピーモード）、モノクロ印刷では最大24枚/分（コピーモード）で印刷できます。

多彩な給紙機能

普通紙530枚（連量70kg紙）を連続給紙する用紙カセットと、はがき・封筒・ラベル紙・OHPシートを連続給紙できるマルチパーパストレイを標準装備。オプションで普通紙530枚の連続給紙が可能なセカンド/サードトレイユニット、用紙の両面に印刷できる両面印刷ユニットを用意しています。

インタフェースの自動切り替え

パラレルとUSB、ネットワーク のインタフェースを装備。データの来た順に自動的に切り替わります。

環境対応

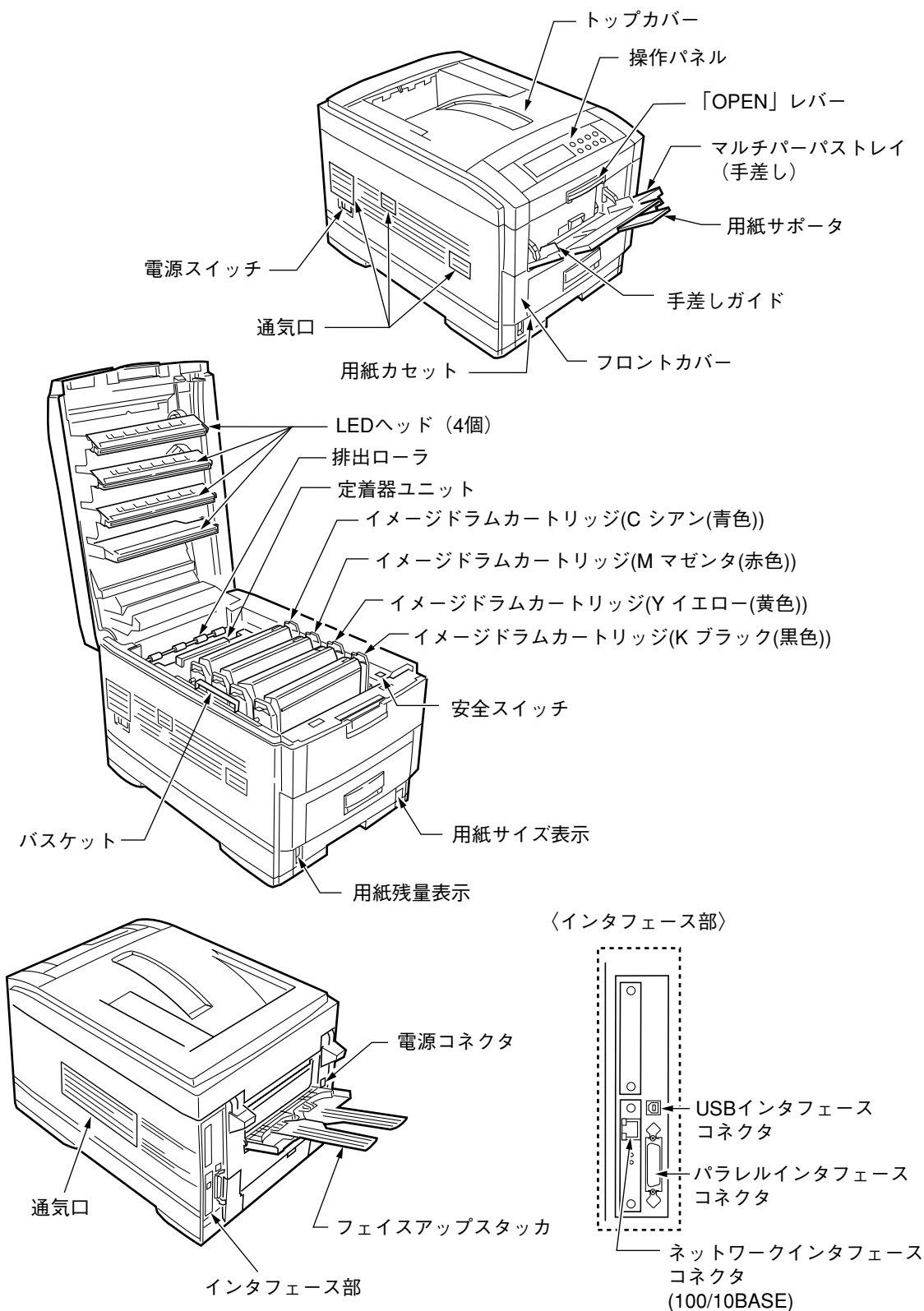
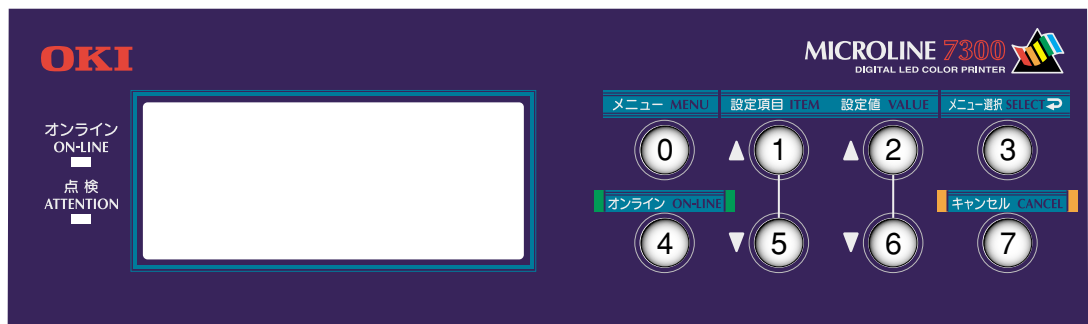
交換時期の異なるトナーとイメージドラムを別ユニットに分離。廃棄物を最小限に抑え、地球環境の保全に十分配慮しています。さらに、待機時の電力消費を抑える省電力モードやオゾンフリープロセスなど使う人に優しい設計です。

プリンタ各部の名前

トップカバー
操作パネル
「OPEN」レバー
マルチパーパストレイ
（手差し）
用紙サポータ
電源スイッチ
手差しガイド
通気口
フロントカバー
用紙カセット

LEDヘッド（4個）
排出ローラ
定着器ユニット
イメージドラムカートリッジ(C シアン(青色))
イメージドラムカートリッジ(M マゼンタ(赤色))
イメージドラムカートリッジ(Y イエロー(黄色))
イメージドラムカートリッジ(K ブラック(黒色))
安全スイッチ
用紙サイズ表示
バスケット
用紙残量表示

〈インタフェース部〉

電源コネクタ
USBインタフェース
コネクタ
パラレルインタフェース
コネクタ
通気口
フェイスアップスタッカ
ネットワークインタフェース
コネクタ
(100/10BASE)
インタフェース部

操作パネル

「オンライン」ランプ（緑）

点灯：データを受信できる状態です。
（オンライン）
点滅：受信したデータを処理しています。
消灯：データを受信できない状態です。
（オフライン）

「点検」ランプ（赤）

点灯：エラーが発生しました。印刷は可能です。
点滅：エラーが発生しました。印刷できません。

表示部

プリンタの状態や、障害が発生したときの内容を表示します。1行24文字で2行に表示します。

0「メニュー」スイッチ

スイッチを短く押すとメニューモードになり、表示部にカテゴリを表示します。
メニューモード中に押すと次のカテゴリを表示します。2秒以上押すと前のカテゴリを表示します。

1「設定項目＋」スイッチ

メニューモード中に押すと設定項目を一つ進めます。2秒以上押すと早送りします。

2「設定値＋」スイッチ

メニューモード中に押すと設定値を一つ進めます。2秒以上押すと早送りします。

3「メニュー選択」スイッチ

メニューモード中に押すと表示中の設定値を保存し、表示部の右端に“＊”を表示します。

4「オンライン」スイッチ

オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。
メニューモード中に押すと［オンライン］に戻ります。［nnn：テサシ　インサツ］、［nnn：ttt　ヨウシガ　チガイマス］、［nnn：ttt　サイズガ　チガイマス］表示中に押すと印刷します。

5「設定項目－」スイッチ

メニューモード中に押すと設定項目を一つ戻します。2秒以上押すと早戻しします。

6「設定値－」スイッチ

メニューモード中に押すと設定値を一つ戻します。2秒以上押すと早戻しします。

7「キャンセル」スイッチ

処理中の印刷ジョブを削除します。メニューモード中に押すと、［オンライン］に戻ります。

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  周囲温度　　：　10～32°C
  周囲湿度　　：　20～80%RH（相対湿度）
  最大湿球温度：　25℃
- 結露しないように注意してください。
- ［デンゲンヲキリ　シバラク　オマチクダサイ/126：ケツロ　エラー］表示が出た場合、結露の可能性があります。
- 結露したときは、プリンタが周囲の温度になじむまで数時間から半日程度放置してから電源を入れてください。
- 周囲湿度が30%以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

設置に関する注意

⚠警告

- 高温や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。

⚠注意

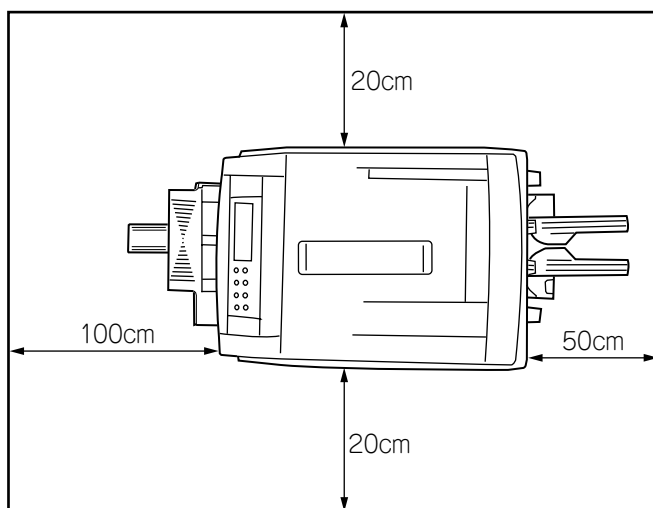
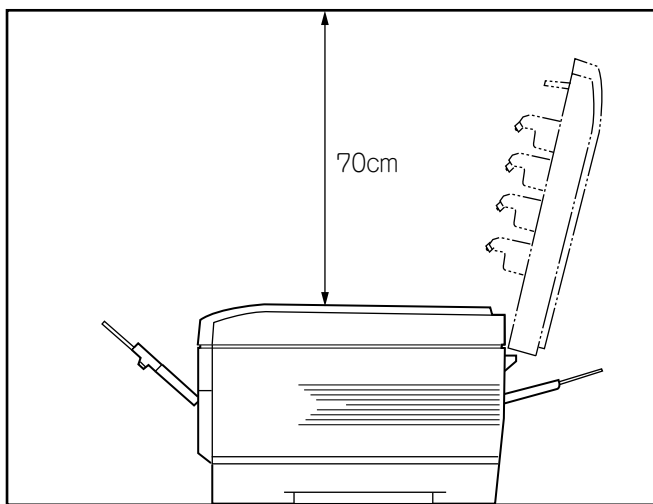
- プリンタの通気口をふさぐような場所には設置しないでください。
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- プリンタを移動するときは、プリンタの両側を持ってください。
- このプリンタは重量が約47.5kgありますので、2人以上で持ち上げてください。

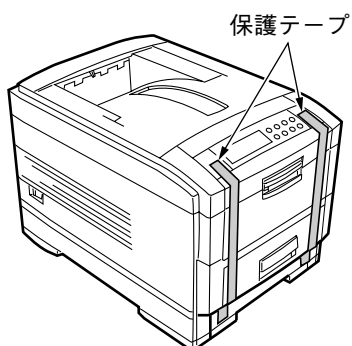
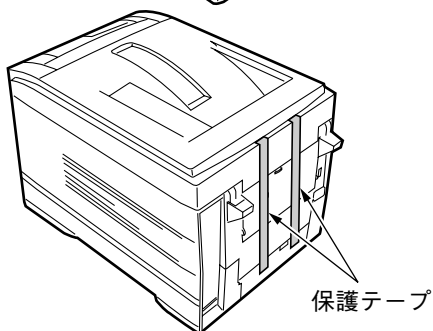
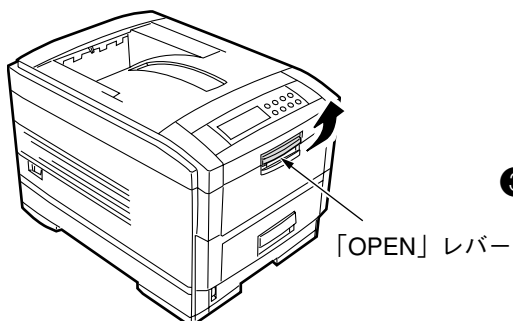
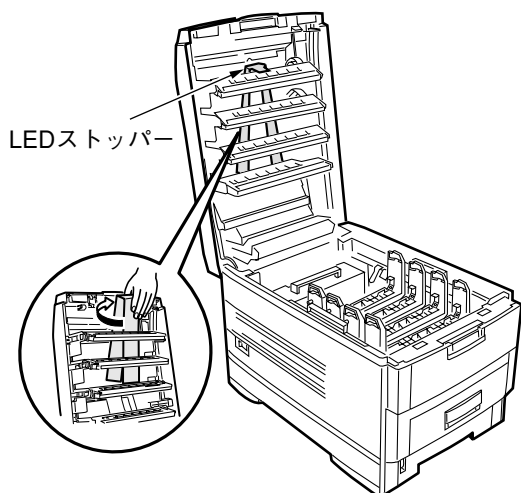
設置スペース

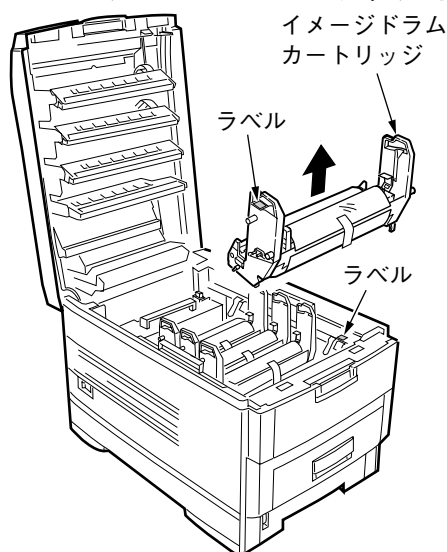
- プリンタの足が乗る大きさの平らな机の上に置いてください。
- プリンタの周りに十分なスペースを取ってください。

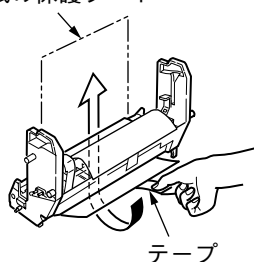
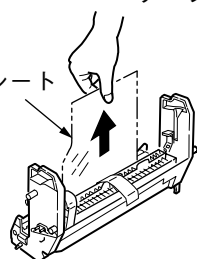
平面図

側面図

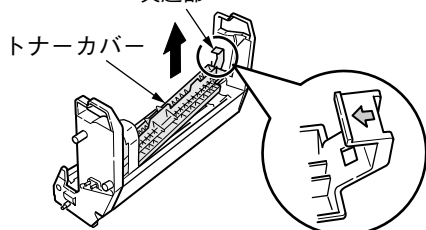
1章

付属品を取り付けます

1 保護具を取り外します。

❶ プリンタ前面の保護テープ（2ヶ所）をはがします。

❷ プリンタ背面の保護テープ（2ヶ所）をはがします。

❸ 「OPEN」レバーを押し上げ、トップカバーを開きます。

❹ LEDストッパー（オレンジ色）を引き出します。

2 イメージドラムカートリッジをセットします。

❶ イメージドラムカートリッジ（4個）を静かに取り出します。

- トナーの飛散に注意して作業してください。
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

❷ 紙の保護シートをとめているテープをはがし、イメージドラムカートリッジから紙の保護シートを矢印の方向に引き抜きます。

❸ 透明なシートを矢印の方向に引き抜きます。

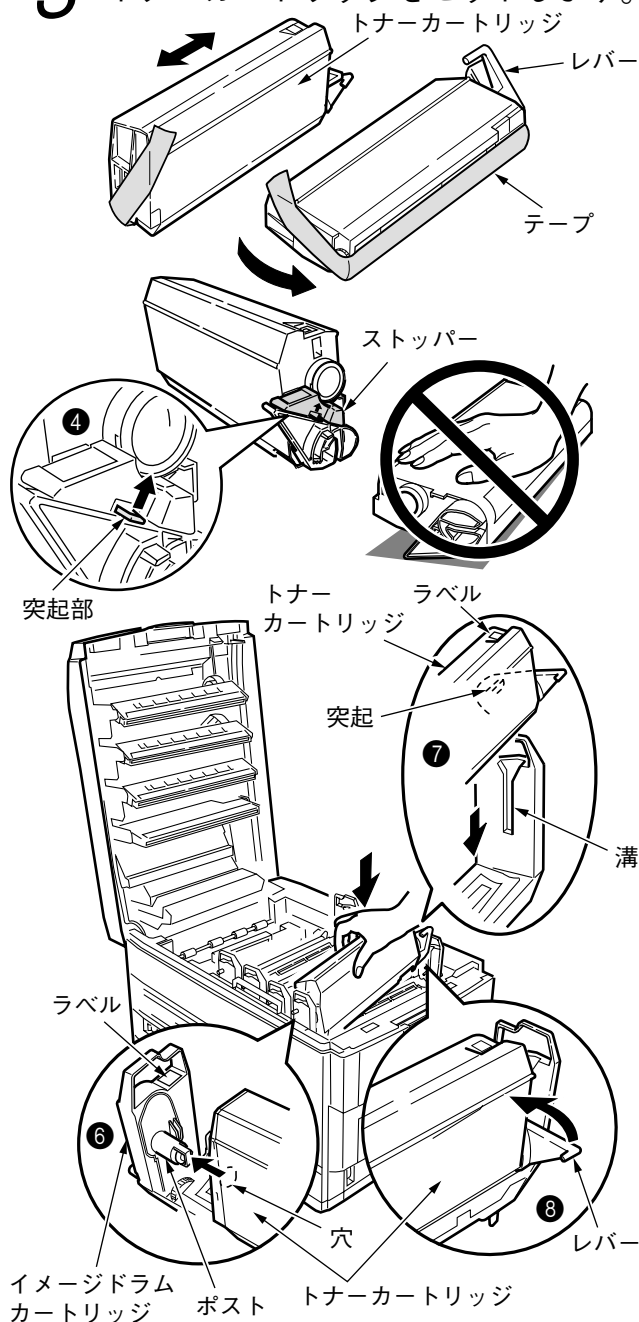
❹ トナーカバー（オレンジ色）を固定しているテープをはがし、突起部を内側に押しながらトナーカバーを取り外します。

トナーカバーは不燃物として処理してください。

❺ イメージドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色を合わせます。

❻ イメージドラムカートリッジ（4個）を静かに戻します。

1章

3 トナーカートリッジをセットします。

トナーカートリッジ
レバー
テープ
ストッパー
❹
突起部
トナーカートリッジ
ラベル
突起
❼
溝
ラベル
❻
❽
穴
レバー
イメージドラムカートリッジ
ポスト
トナーカートリッジ

❶ トナーカートリッジ（4個）を包装袋から取り出します。

❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーカートリッジのレバーがロックされていることを確認してから、トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりはがします。

❹ レバーのストッパー（オレンジ色）を外します。突起部を矢印方向に押すと外れます。

注 トナーカートリッジを裏返した状態で荷重をかけないでください。レバーが動き、トナーがこぼれる場合があります。

❺ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

❻ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❼ トナーカートリッジの突起をイメージドラムカートリッジの溝に合わせしっかり押し込みます。

❽ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

❾ トップカバーを閉じます。

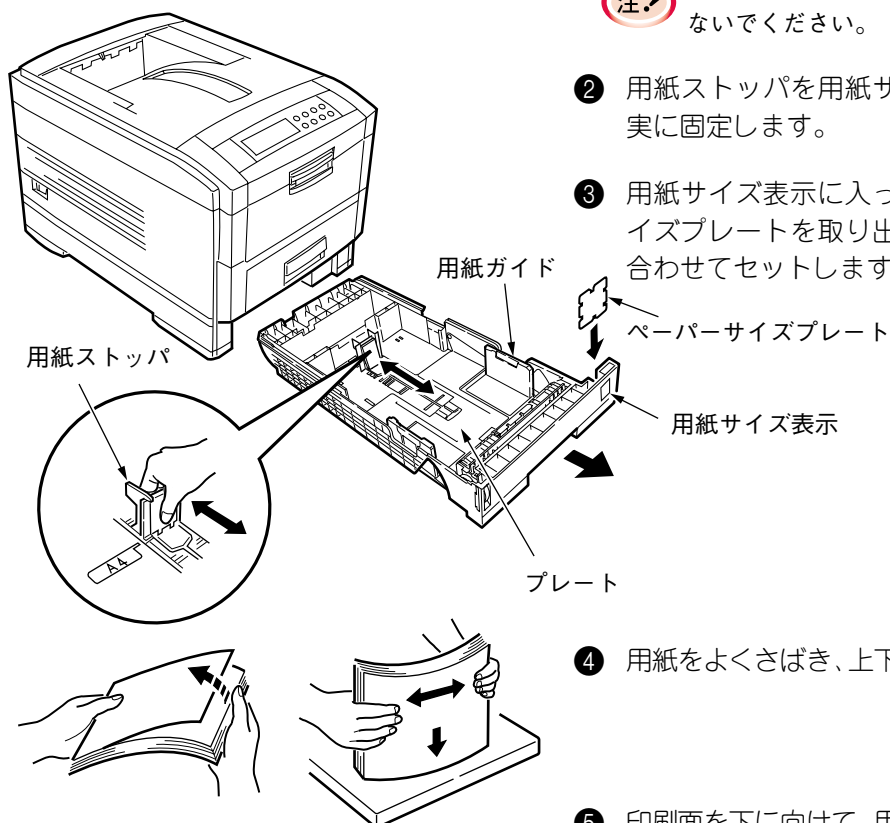
- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らずレバーが回らないときは、トナーカートリッジとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。ラベルの色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。
- トナーカートリッジを取り付けた後に、操作パネルの［トナーヲ　イレテクダサイ］の表示がいつまでも消えないときは、上記の手順に従ってトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
- ［トナーセンサエラー］が表示された場合、トナーカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

4 用紙カセットに用紙をセットします。

❶ 用紙カセットを引き出します。

注 プレートについているゴムは、はがさないでください。

❷ 用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

❸ 用紙サイズ表示に入っているペーパーサイズプレートを取り出し、用紙サイズを合わせてセットします。

❹ 用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

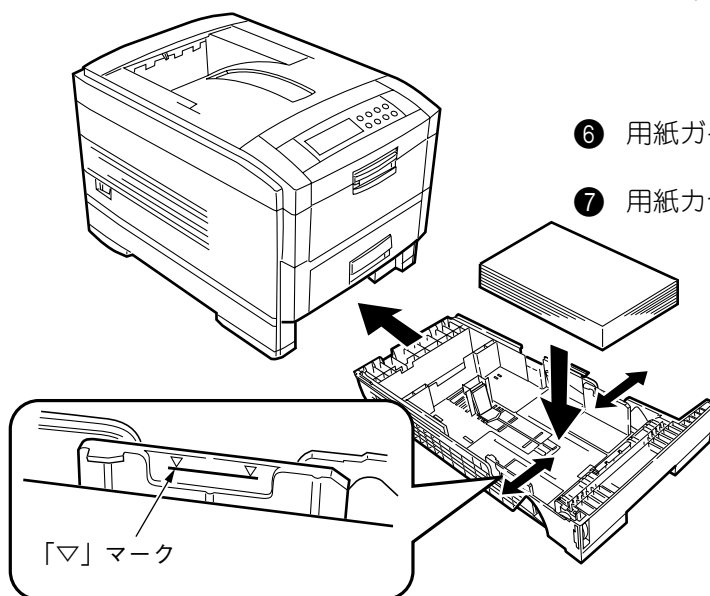
❺ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

注
- 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。（連量70kg紙で530枚）

❻ 用紙ガイドで用紙を固定します。

❼ 用紙カセットをプリンタに戻します。

電源を入れます

1章

電源の条件

- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）　：　100V ± 10%
  電源周波数　：　50Hz または 60Hz ± 2Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンタの最大消費電力は 1,500W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。

⚠警告

- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチを OFF にしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンタと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 添付の電源コードのみで使用してください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格 15A 以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC電圧降下により、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長時間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。

寒いところから暖かい室内へプリンタを搬入した場合などに、外気温とプリンタの装置温度の違いによって、プリンタ内部に結露が発生する場合があります。
操作パネルに［デンゲンヲキリ　シバラク　オマチクダサイ /126：ケツロ　エラー］表示が出た場合は電源を切って、プリンタが室温に馴染むまで、数時間から半日程度放置後、電源を入れてください。

1　電源コードを接続します。

注　電源スイッチがOFF（○）になっていることを確認してください。

❶ 電源コードをプリンタに差し込みます。

❷ アース線をコンセントのアース端子に接続した後、電源プラグをコンセントに差し込みます。

2　電源スイッチのON（｜）を押します。

操作パネルに次のように表示され、完全に起動すると［オンライン］表示になります。

電源を切ります

注 印刷終了後、5秒以上待ってから電源を切ってください。

オプションの内蔵ハードディスクを取り付けている場合は、いきなり電源を切らずに下記の手順で電源を切ります。

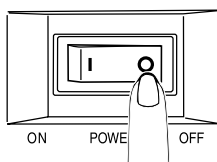
- いきなり電源を切ると、内蔵ハードディスクに損傷を与え、使用不能になることがあります。
- ［シャットダウン　メニュー］はオプションの内蔵ハードディスク装着時のみ表示されます。

❶ 0 を数回押し、［シャットダウン　メニュー］を表示します。

❷ 3 を押し、［シャットダウン　スタート／ジッコウ］を表示します。

❸ 3 を押します。

［シャットダウン］と表示され、シャットダウン処理が開始されます。

❹ ［デンゲンヲ　オフシテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ］が表示されたら、電源スイッチのOFF（O）を押します。

メニューマップ印刷をします

プリンタが正常に動作することを確認します。

❶ トレイにA4用紙をセットします。

❷ 0 を数回押し、［インフォメーション　メニュー］を表示します。

❸ 1 または 5 を押し、［メニューマップ　インサツ／ジッコウ］を表示します。

❹ 3 を押します。

メニューマップ印刷が開始されます。

（サンプル）

MenuMap　MICROLINE 7300

Printer Serial Number:N30515　04 012 B0329223　プリンタ管理番号:
CU version:C1.00 [I00.65 S2.2.5n2 B02.41(FB) PPC750CXe 450MHz 00083214 00020010 F32 J0]
PU version:00.00.85 [PI02.09 L000.08.13 DU00.71.65]
PCL Program version:01.30 [04.16 X00.27 P F]
Total Memory Size:64 MB　トレイ1:A4 縦送り　DIMM Slot A:CU Program ROM
Flash Memory:4 MB [F32]　DIMM Slot B:Heisei font [PCL:04.01]
HDD:6.01 GB [F32]
JP1
C:0 M:0 Y:0 K:0

印刷ジョブメニュー
パスワード入力

インフォメーションメニュー
メニューマップ印刷
ファイルリスト印刷
PCLフォント印刷
DEMO1
エラーログ印刷

シャットダウン メニュー
シャットダウン スタート

印刷メニュー
コピー枚数　1
両面印刷　オフ
給紙トレイ　トレイ1
自動トレイ切り替え　オン
トレイ選択順序　下方向
MPトレイの使い方　用紙違いの時
用紙チェック　有効
OHP 検出　有効
解像度　600DPI
トナーセーブモード　オフ
モノクロ印刷速度　自動
印刷方向　縦
1ページ行数　64 行
編集サイズ　カセット用紙サイズ

メディアメニュー
トレイ1用紙タイプ　普通紙
トレイ1用紙厚　自動
MPトレイ用紙サイズ　A4 縦送り
MPトレイ用紙タイプ　普通紙
MPトレイ用紙厚　自動
用紙サイズ設定単位　ミリメートル
カスタム用紙幅　210 ミリメートル
カスタム用紙長さ　297 ミリメートル

カラーメニュー
自動濃度補正モード　自動
濃度補正
カラー調整
シアン HIGHLIGHT　0
シアン MID-TONE　0
シアン DARK　0
マゼンタ HIGHLIGHT　0
マゼンタ MID-TONE　0
マゼンタ DARK　0
イエロー HIGHLIGHT　0
イエロー MID-TONE　0
イエロー DARK　0
ブラック HIGHLIGHT　0
ブラック MID-TONE　0
ブラック DARK　0
シアン濃度　0
マゼンタ濃度　0
イエロー濃度　0
ブラック濃度　0
自動色ずれ補正
シアン位置ずれ微調整　0
マゼンタ位置ずれ微調整　0
イエロー位置ずれ微調整　0
UCR　少ない
CMY100%濃度　無効

システム構成メニュー
パワーセーブ移行時間　60 分
アラーム解除　オン
エラー自動解除　オフ
マニュアルタイムアウト　60 秒
タイムアウト印刷　40 秒
トナー不足印刷継続　継続
ジャムリカバー　オン
言語　日本語

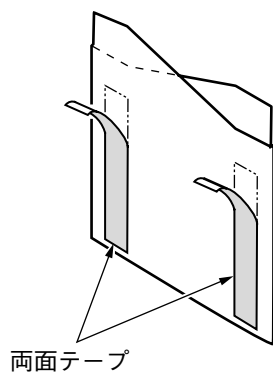
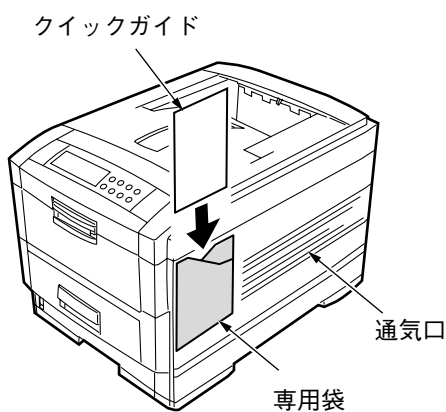
PCL エミュレーション
使用フォント　DIMM0 フォント
フォントNo.　C001
フォントサイズ　12.00 ポイント
シンボルセット　WIN3.1J
A4印字幅　78 桁
白紙ページ除外　オフ
CR 動作　CR のみ
LF 動作　LF のみ
印刷領域　ノーマル
イメージ黒選択　混合黒
ペン幅補正　オン

セントロ メニュー
セントロ　有効
双方向セントロ　有効
ECP　有効
ACK幅　狭い
ACK/BUSYタイミング　ACK IN BUSY
I-PRIME　無効

USBメニュー
USB　有効
ソフトリセット　無効

クイックガイドの収納

クイックガイド専用の袋をプリンタに貼り付け、クイックガイドをしまいます。

1 クイックガイド専用袋を裏側にして、両面テープ（2ヶ所）をはがします。

2 専用袋をプリンタに貼り付けます。

注 プリンタの通気口を塞がないように貼り付けてください。

2 Windowsをセットアップします

接続方法を決めます

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

1　システム環境から接続方法を選択します。

システムによって、接続可能なインタフェースが異なります。

○：使用可能
×：使用不可

接続方法／システム環境	パラレルインタフェース	USBインタフェース	ネットワーク
WindowsXP	○	○	○
WindowsMe	○	○	○
Windows98	○	○	○
Windows95	○	×	○
Windows2000	○	○	○
WindowsNT4.0	○	×	○

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

パラレルインタフェースを利用する場合

● WindowsXP
WindowsXP 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

● WindowsMe/98/95
WindowsMe/98/95 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

● Windows2000
Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

● WindowsNT4.0
WindowsNT4.0 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 でパラレルインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。
- Windows3.1/NT3.51 では動作しません。
- WindowsNT4.0 は、ARC 互換 RISC ベースのプロセッサ（MIPS® シリーズ、Alpha、PowerPC™ など）のシステムには対応していません。

メモ

- コンピュータのパラレルポートのBIOS設定を「ECP」モードにすると、データ転送速度が向上する場合があります。設定方法はコンピュータの製造元にお問い合わせください。
- パラレルケーブルはシールドされたものをお使いください。（最長 1.8m）

2
章

USB インタフェースを利用する場合

● WindowsXP
WindowsXP 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

● WindowsMe/98
WindowsMe/98 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

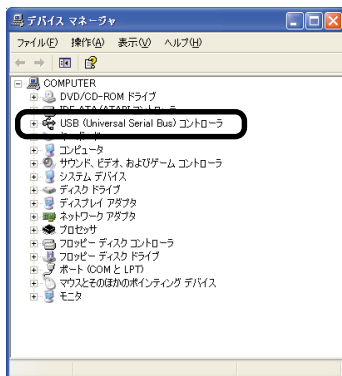
● Windows2000
Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

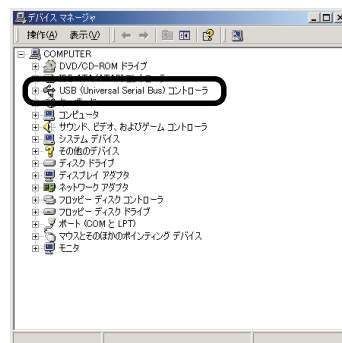
- Windows95/3.1からアップグレードインストールしたWindowsMe/98での動作は保証できません。
- 日本語以外の OS には対応していません。
- MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。
- Windows95/3.1/NT4.0/NT3.51 では動作しません。
- 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
- 他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、プリンタフォルダに「OKI MICROLINE 7300」「OKI MICROLINE 7300（コピー 2）」「OKI MICROLINE 7300（コピー 3）」と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- USBハブを使用する場合は、コンピュータと直接接続された USB ハブに接続してください。

メモ　USB ケーブルは長さ 2m 以内のものをお使いください。

メモ　お使いのコンピュータが USB に対応しているか確認できます。

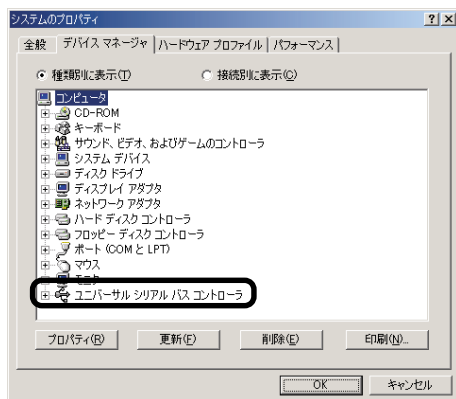
〈WindowsXP〉

［スタート］-［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［ハードウェア］タブを開き、［デバイスマネージャ］をクリックします。

〈Windows2000〉

［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［ハードウェア］タブを開き、［デバイスマネージャ］をクリックします。

〈WindowsMe/98〉

［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［デバイスマネージャ］タブを開きます。

（WindowsMe の画面）

2
章

ネットワークインタフェースを利用する場合

● WindowsXP
WindowsXP 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● WindowsMe/98/95
WindowsMe/98/95 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● Windows2000
Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● WindowsNT4.0
WindowsNT4.0 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。
- Windows3.1/NT3.51 では動作しません。
- WindowsNT4.0 は、ARC 互換 RISC ベースのプロセッサ（MIPS® シリーズ、Alpha、PowerPC™ など）のシステムには対応していません。

メモ イーサネットケーブルにはプリンタ付属のイーサネットケーブル用コアを取り付けて使用してください。

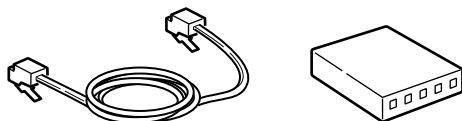
ケーブルを接続します

1 使用するケーブルが、パラレルケーブルかUSBケーブルかイーサネットケーブルかを確認します。

注 お使いのコンピュータでそれぞれのケーブルが使用できるかどうかは、「動作環境」（27ページ）をご覧ください。

〈パラレルケーブル〉

〈USBケーブル〉

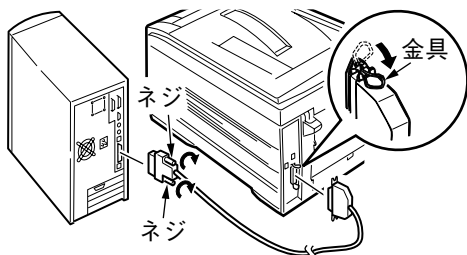
〈イーサネットケーブルとハブ〉

2 プリンタとコンピュータの電源をOFFにします。

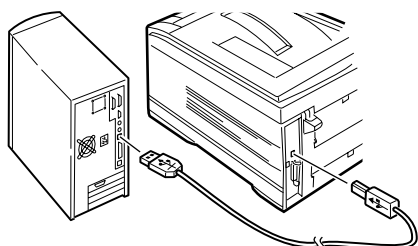
- プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」（22ページ）をご覧ください。
- USBケーブルはコンピュータ、プリンタの電源がONの状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USBドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源をOFFにしておきます。

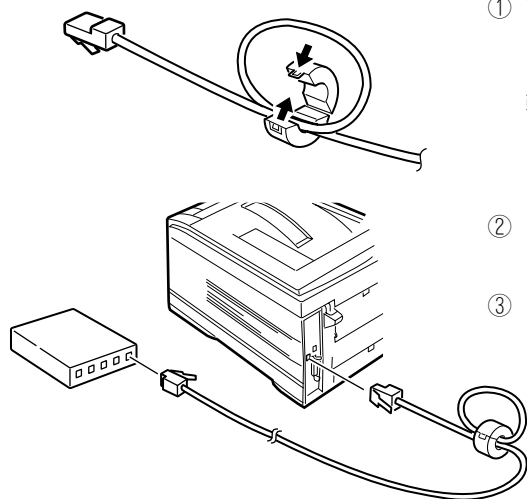
2 章

3 コンピュータとプリンタを接続します。

プリンタケーブルは添付されていません。IEEEstd1284-1994準拠の双方向パラレルケーブル、USB2.0 仕様の USB ケーブル、またはイーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈パラレルインタフェースを利用する場合〉

① パラレルケーブルをプリンタのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、金具で固定します。
② パラレルケーブルをコンピュータのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、ネジで固定します。

〈USB インタフェースを利用する場合〉

① USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。
② USBケーブルをコンピュータのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

〈ネットワークインタフェースを利用する場合〉

① プリンタ添付のイーサネットケーブル用コアを、イーサネットケーブルのプリンタに差し込むコネクタの口から約15cmの所に左図のように1重の輪を作って取り付けます。

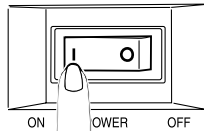
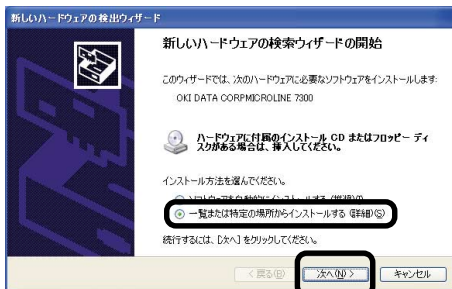
② イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。
③ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

WindowsXP をセットアップします

- WindowsXP をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- パラレルインタフェース、USBインタフェースで接続する場合、プリンタのインストール、セットアッププログラムでセットアップすると、プリンタと WindowsXP を起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。WindowsXP で初めてセットアップする場合は、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- ネットワークのセットアップ手順は、ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）に記載しています。ネットワークを利用する場合は、ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）をご覧ください。

以下の説明は WindowsXP Home Edition を例にしています。

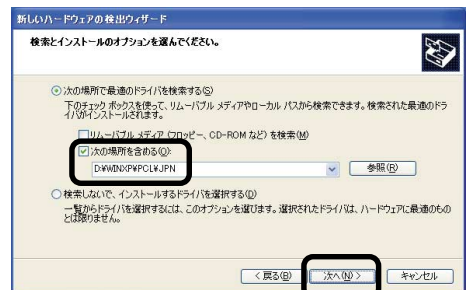
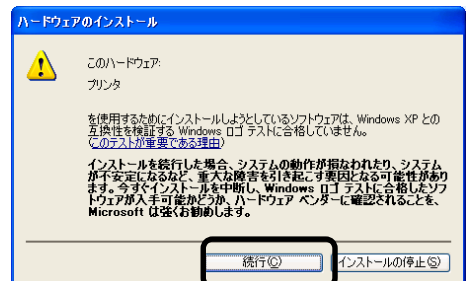
プラグアンドプレイでセットアップします

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら、[一覧または特定の場所からインストールする（詳細）] を選択し、[次へ] をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞「WindowsXP で新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」（47 ページ）へ進みます。

❸「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❹ [次の場所で最適のドライバを検索する] を選択し、[リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索] のチェックを外します。

❺ [次の場所を含める] にチェックを付け、次のように入力し、[次へ] をクリックします。

D:¥WINXP¥PCL¥JPN
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❻「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
☞ ❿ へ進みます。

2章

❼ ［完了］をクリックします。

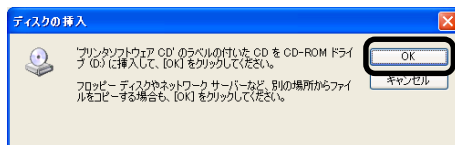
❽ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

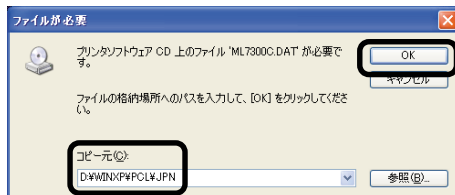
❾ 「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタとFAX］をクリックします。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ❻ からの続き

❿ 「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

⓫ ［コピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

D:¥WINXP¥PCL¥JPN
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

ファイルのコピーが開始されます。

⓬ ［完了］をクリックします。

⓭ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

⓮ 「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタとFAX］をクリックします。

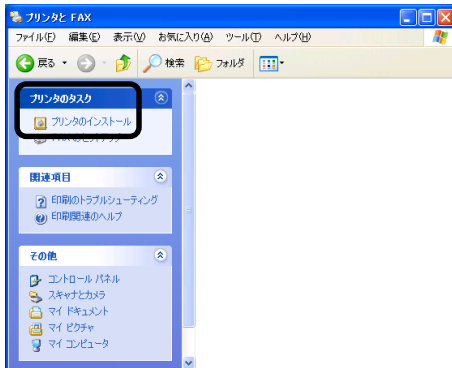
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

プリンタのインストールでセットアップします

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

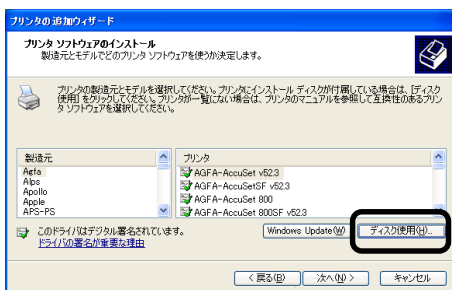
❷ ［コントロールパネルを選んで実行します］の［プリンタとFAX］をクリックします。

❸ ［プリンタのタスク］-［プリンタのインストール］をクリックします。

❹ 「プリンタの追加ウィザード」画面で、［次へ］をクリックします。

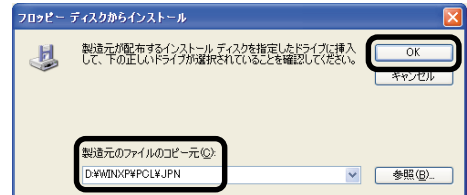
❺ ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

注 ［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外してください。

❻ 「次のポートを使用」画面で［LPT1:（推奨プリンタポート）］または［USBxxx］（xxxはポートの番号）を選択し、［次へ］をクリックします。

❼ ［ディスク使用］をクリックします。

❽ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❾ ［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

D:¥WINXP¥PCL¥JPN
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❿ プリンタ名を選択し、［次へ］をクリックします。

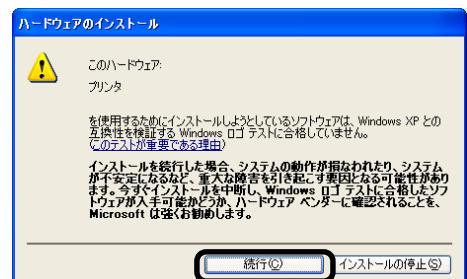
⓫ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、［このプリンタを共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓬ ［テストページを印刷しますか？］で［いいえ］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓭ ［完了］をクリックします。

⓮ 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

2
章

ファイルのコピーが開始されます。

［プリンタとFAX］フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0 をセットアップします

- Windows2000/NT4.0 ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows95で、バージョンが「4.00.950」または「4.00.95a」の場合、Internet Explorer4.0 以上がインストールされていないと、セットアッププログラムでのセットアップができません。Internet Explorer を 4.0 以上にアップデートしてから、セットアップを行ってください。(Windows95のバージョンは、［マイコンピュータ］を右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［情報］タブで確認することができます。)
- ネットワークのセットアップ手順は、ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）に記載しています。ネットワークを利用する場合は、ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）をご覧ください。

2
章

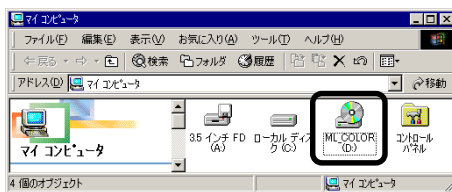
1　コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

プリンタの電源がONになっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、［キャンセル］をクリックし、プリンタの電源を OFF にしてから次に進んでください。

2　セットアッププログラムを起動します。

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットします。

❷ ［マイコンピュータ］を開きます。

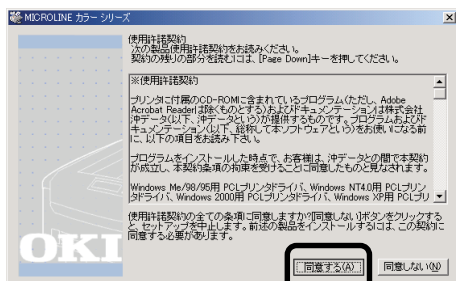
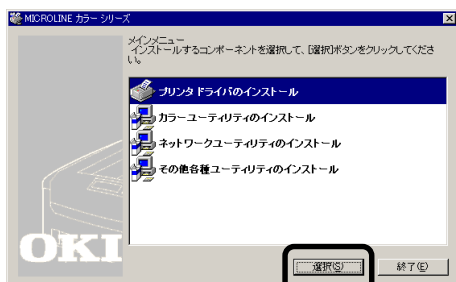
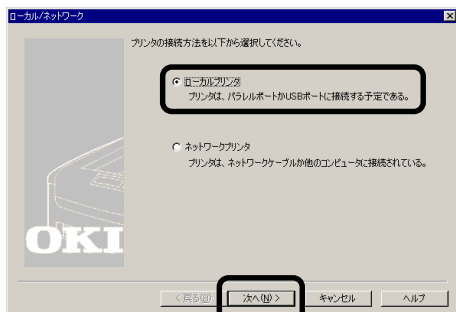
❸ ［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

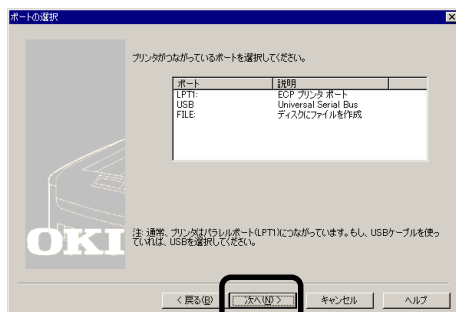
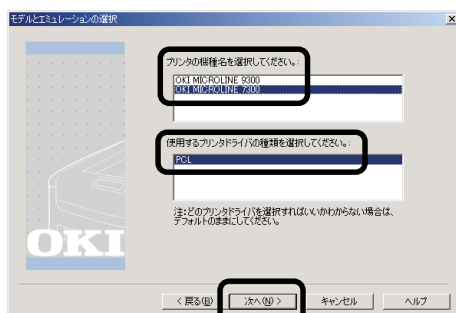
setup

セットアッププログラムが起動します。

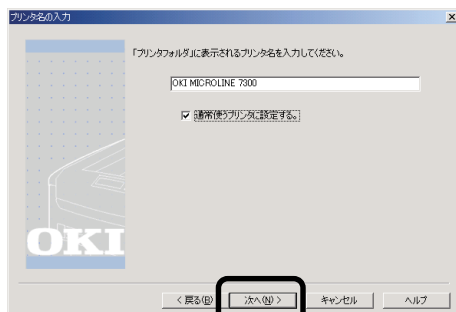
2章

3 プリンタドライバをインストールします。

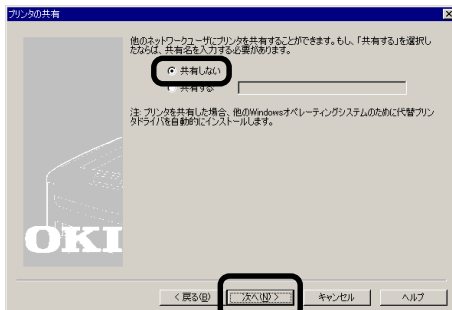
❶ 「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❷ [プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❸ [ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）」をご覧ください。

❹ ポートを選択し、[次へ]をクリックします。

❺ プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

WindowsMe/98でUSBインタフェースで接続する場合は、ファイルのコピーが行われます。

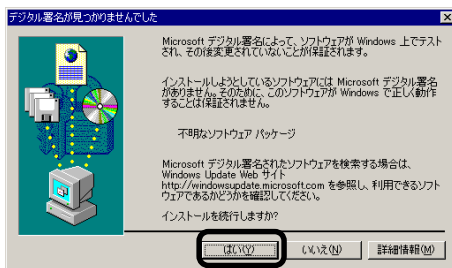
WindowsMe/98でUSBインタフェースで接続する場合
☞ 手順4（41ページ）へ進みます。
Windows2000でUSBインタフェースで接続する場合
☞ ❽に進みます。

❻ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

WindowsMe/98/95でパラレルインタフェースで接続する場合は、ファイルのコピーが行われます。

❼ Windows2000/NT4.0の場合、「プリンタの共有」画面が表示されたら、［共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

WindowsMe/98/95 では表示されません。

WindowsNT4.0 では、ファイルのコピーが行われます。

❽ Windows2000の場合、「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

WindowsMe/98/95/NT4.0 では表示されません。

ファイルのコピーが行われます。

USB インタフェースで接続する場合
☞ 手順 4（41 ページ）へ進みます。

❾ ［完了］をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合
☞ ⓬ に進みます。

❿ ［終了］をクリックします。

⓫ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

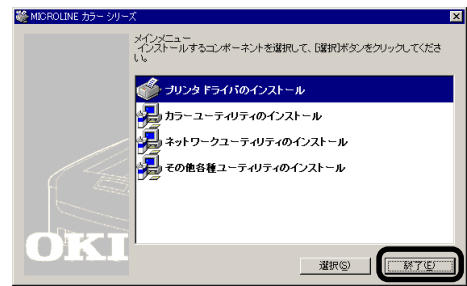
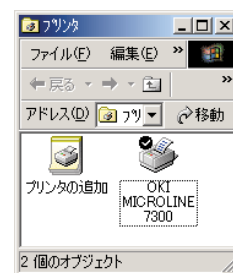
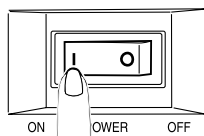
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

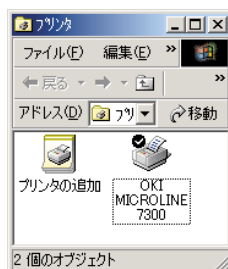
☞ ❾ からの続き

⓬ 「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、［再起動する］にチェックを付け、［完了］をクリックします。

Windows が再起動されます。

2章

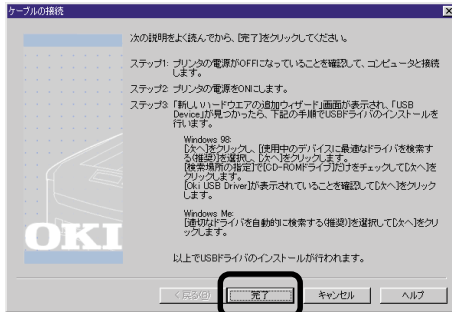
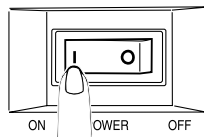
2
章

⓭ Windowsが完全に起動したら、プリンタの電源を ON にします。

⓮ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

4 USB ドライバをインストールします。

注

- USB インタフェースを利用する場合のみご覧ください。
- パラレルインタフェースを利用する場合は、この手順は必要ありません。

❶ 以下の画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら？
☞ ❸ に進みます。

❷ プリンタの電源をオンにします。

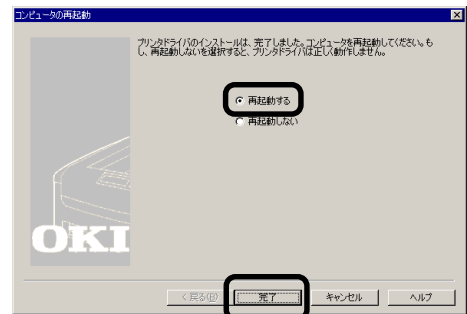
USB ドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

Windows2000 の場合
☞ 42 ページに進みます。

WindowsMe の場合
☞ 42 ページに進みます。

Windows98 の場合
☞ 43 ページに進みます。

☞ ❶ からの続き

❸ 「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、［再起動する］にチェックを付け、［完了］をクリックします。

Windows が再起動されます。

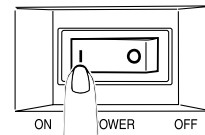
❹ Windows が完全に起動したら、プリンタの電源を ON にします。

USB ドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

Windows2000 の場合
☞ 42 ページに進みます。

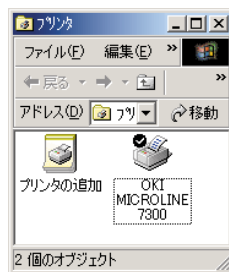
WindowsMe の場合
☞ 42 ページに進みます。

Windows98 の場合
☞ 43 ページに進みます。

2章

Windows2000 の場合

❶ システム標準のUSBドライバが自動的にインストールされます。1～2分かかることがあります。

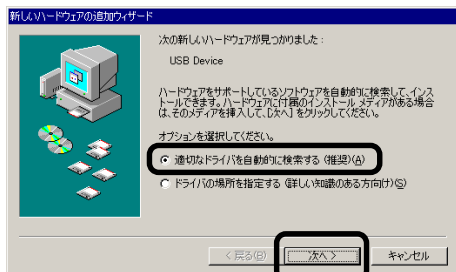
❷ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

WindowsMe の場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従って USB ドライバをインストールします。

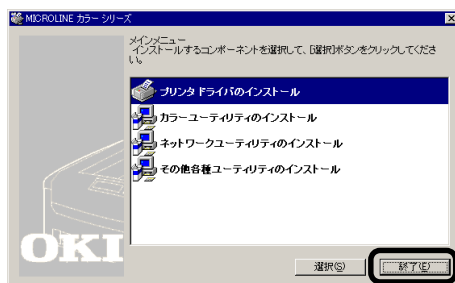
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「WindowsMe で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」（48 ページ）をご覧ください。

❶ ［適切なドライバを自動的に検索する］を選択し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❷ ［完了］をクリックします。

引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

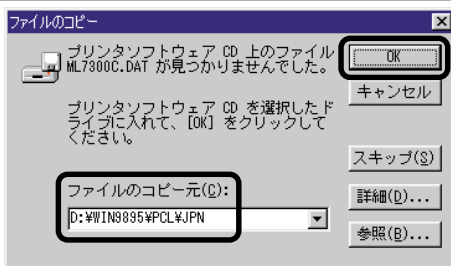
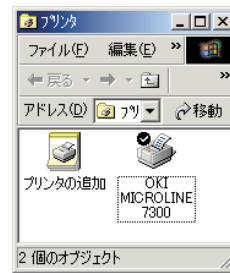
「ディスクの挿入」が表示されたら？
☞ ❹ へ進みます。

❸ 「MICROLINE カラーシリーズ」画面が表示されている場合は、［終了］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは完了です。

☞ ❷ からの続き

❹ 「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、[OK] をクリックします。

❺ [ファイルのコピー元] に次のように入力し、[OK] をクリックします。

D:¥WIN9598¥PCL¥JPN
（CD-ROM ドライブが D:¥ の場合）

ファイルのコピーが開始されます。

[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは完了です。

Windows98 の場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従って USB ドライバをインストールします。

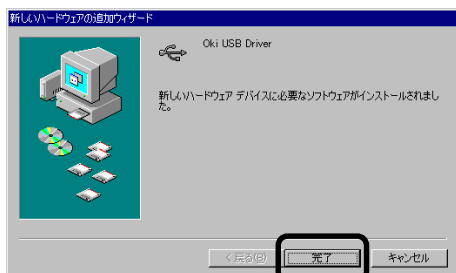
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「Windows98 で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」（50 ページ）をご覧ください。

❶ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

❷ [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）] を選択し、[次へ] をクリックします。

2章

❸ [CD-ROM ドライブ] にチェックを付け、[次へ] をクリックします。

❹ このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、[次へ] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❺ [完了] をクリックします。

引き続きUSBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

「ディスクの挿入」が表示されたら?
☞ ❼ へ進みます。

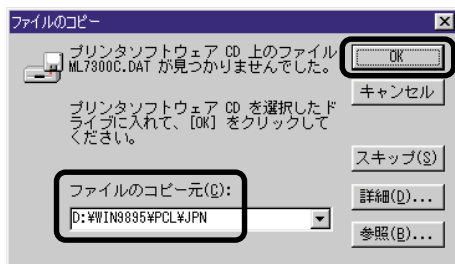
❻「MICROLINE カラーシリーズ」画面が表示されている場合は、[終了] をクリックします。

[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは完了です。

☞ ❺ からの続き

❼「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、[OK] をクリックします。

❽ [ファイルのコピー元] に次のように入力し、[OK] をクリックします。

D:¥WIN9598¥PCL¥JPN
(CD-ROM ドライブが D:¥ の場合)

[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは完了です。

セットアップがうまくいかないとき

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが作成されない場合（WindowsMe/98/95/2000/NT4.0、USB インタフェース）

❶ セットアッププログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ケーブルの接続」画面が表示されたら、USB ケーブルの接続を確認し、電源を ON にします。

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合は、Windowsを再起動した後、USB ケーブルの接続を確認し、プリンタの電源を ON にします。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0をセットアップします」（37ページ）をご覧ください。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］）を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択します。

❸ ［詳細］タブの［印刷先のポート］（WindowsXP/2000 では、［ポート］タブの［印刷するポート］）で、接続先のポートを下記の設定にします。

パラレルケーブルで接続する場合	［LPT1］
USB ケーブルで接続する場合	［USBxxx］（WindowsXP/2000 の場合） ［OP1USBx］（WindowsMe/98 の場合）

- WindowsXP/2000 で、［印刷するポート］に［USBxxx］が表示されないときは、プリンタの電源がONになっていることを確認してUSBケーブルを接続し直し、再度❶～❸を行ってください。
- WindowsMe/98 で［印刷先のポート］に［OP1USBx］が表示されないときは、プリンタの電源がOFFになっていることを確認してUSBケーブルを接続し直し、再度セットアップを行ってください。詳細は、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0をセットアップします」（37 ページ）をご覧ください。
- WindowsMe/98でセットアップ中に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合は、「WindowsMe で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」（48 ページ）、「Windows98 で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」（50 ページ）をご覧ください。

セットアップププログラムで「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合（WindowsMe/98/95/2000/NT4.0）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［プリンタの追加］をダブルクリックします。

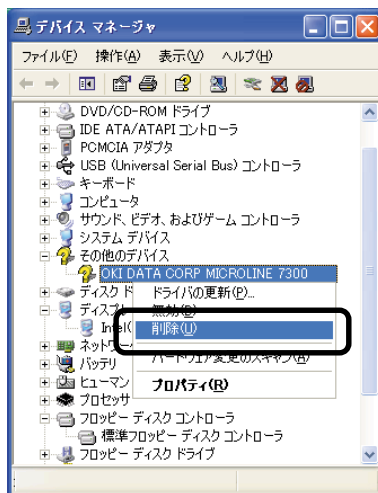
❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

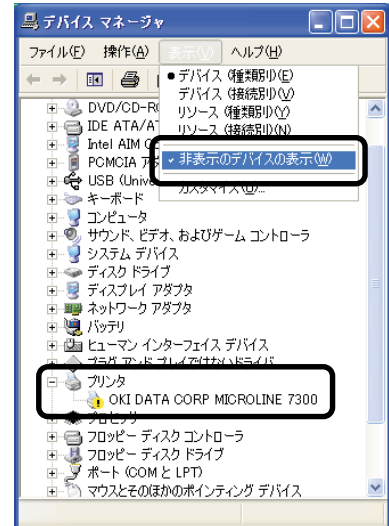
詳細は、「プリンタソフトウェア CD-ROM」内の「README.TXT」をご覧ください。

WindowsXP で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

❶ ［スタート］-［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❷ ［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックします。

❸ ［その他のデバイス］の「OKI DATA CORP MICROLINE 7300」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

［その他のデバイス］が表示されなかったら？

［表示］メニューの［非表示のデバイスの表示］を選択し、［プリンタ］の「OKI DATA CORP MICROLINE 7300」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

❹ 「デバイスの削除の確認」画面で［OK］をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

❺ 「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックします。

❻ Windows を再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

☞「WindowsXP をセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」（33 ページ）へ戻ります。

2章

WindowsMe で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

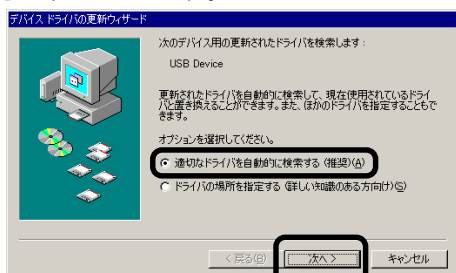
❶ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❷ ［システム］をダブルクリックします。

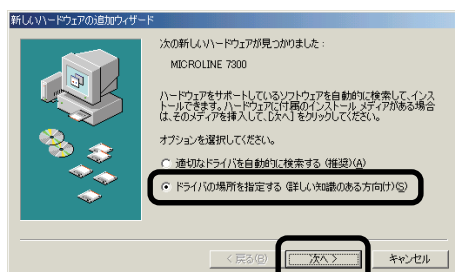
❸ ［デバイスマネージャ］タブの［その他のデバイス］で［USB Device］を選択し、プロパティをクリックします。

❹ ［ドライバの再インストール］をクリックします。

❺「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

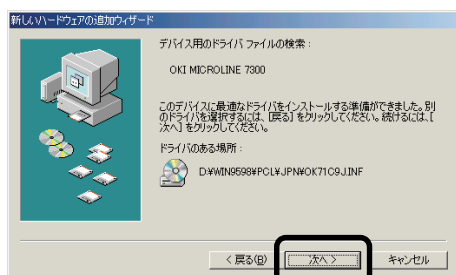
❻「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、［適切なドライバを自動的に検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

❼「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽［使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）］を選択し、「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）」のチェックを外します。

❾［検索場所の指定］にチェックを付け、次のように入力し、［次へ］をクリックします。

D:¥WIN9598¥PCL¥JPN
（CD-ROM ドライブが D:¥ の場合）

❿ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、［次へ］をクリックします。

⓫ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

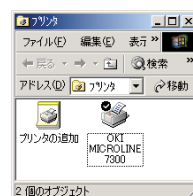
⓬ ［印字テストを行いますか？］で［いいえ］を選択し、［完了］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⓭ ［完了］をクリックします。

⓮ ハードウェアデバイス用の更新されたドライバがインストールされたことを確認し、［完了］をクリックします。

⓯ 「Oki USB Driverプロパティ」画面で［閉じる］をクリックします。

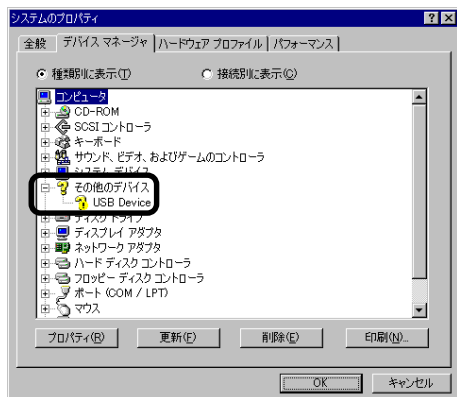
⓰ 「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックし、［コントロールパネル］を閉じます。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは完了です。

Windows98 で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

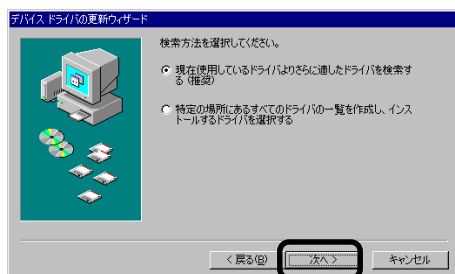
❶ [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。

❷ [システム] をダブルクリックします。

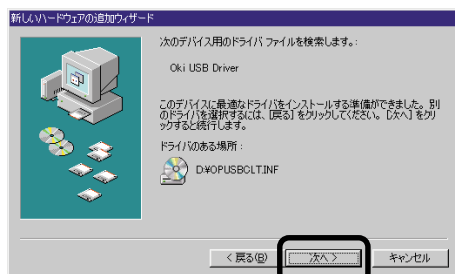
❸ [デバイスマネージャ] タブの [その他のデバイス] で [USB Device] を選択し、プロパティをクリックします。

注 [不明なデバイス] と表示されることがあります。

❹ [ドライバの再インストール] をクリックします。

❺「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

❻ [現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する (推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。

❼「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❽ [CD-ROM ドライブ] にチェックを付け、[次へ] をクリックします。

❾ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、[次へ] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❿ ハードウェアデバイス用の更新されたドライバがインストールされたことを確認し、[完了] をクリックします。

⓫「Oki USB Driver プロパティ」画面で [閉じる] をクリックします。

引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

⓬ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

⓭ [使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）] を選択します。

⓮ [検索場所の指定] にチェックを付け、次のように入力し、[次へ] をクリックします。

D:¥WIN9598¥PCL¥JPN （CD-ROM ドライブが D:¥ の場合）

⓯ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、[次へ] をクリックします。

⓰ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで [はい] を選択し、[次へ] をクリックします。

⓱ [印字テストを行いますか？] で [いいえ] を選択し、[完了] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⓲ [完了] をクリックします。

⓳ 「システムのプロパティ」画面で [OK] をクリックし、[コントロールパネル] を閉じます。

[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは完了です。

2
章

2
章

プリンタドライバを削除するには

- WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

注 WindowsMe/98 で USB 接続している場合は、❹～❼ の作業を行ってください。

❹ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❺ ［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

❻ ［Oki USB Driver］を選択し、［追加と削除］をクリックします。

❼ 以降、画面の指示に従います。

注 WindowsXP/2000 の場合は、❽、❾ の作業を行ってください。

❽ 「プリンタ」フォルダ（WindowsXP では「プリンタと FAX」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❾ ［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

・WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windows が起動されている場合は再起動してください。

2章

❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源を ON にします。

❷ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❸ ［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

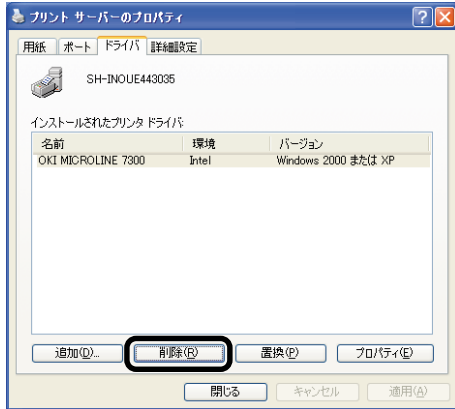
❹ ［全般］タブの［テストページの印刷］をクリックします。（WindowsMe/98/95 の場合、［全般］タブの［印字テスト］をクリックします。）

❺ 確認画面が表示されたら、［OK］をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源を OFF にします。

❼ ［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

注　ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバと同じ種類（PCL）のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000の場合は、❾～⓫の作業を行ってください。

❾ 「プリンタ」フォルダ（WindowsXPでは「プリンタとFAX」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❿ ［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

⓫ Windowsを再起動します。

⓬ 新しいプリンタドライバをセットアップします。

詳しくは「WindowsXPをセットアップします」の「プリンタのインストールでセットアップします」（35ページ）、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0をセットアップします」（37ページ）をご覧ください。

- 必ずプリンタの電源がOFFになっていることを確認してください。
- WindowsXPでは、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭ アップデートしたプリンタドライバのバージョンを確認します。

⓮ ❶～❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

⓯ 印刷されたテストページに記載されるファイルバージョンが更新されていることを確認します。

WindowsMe/98/95
［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000
［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsNT4.0
［このドライバが使うファイル］以下に記載されているバージョン

テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］（WindowsMe/98/95の場合、［ドライバ　バージョン］）には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

3 印刷します

給紙方法と排出方法を決めます

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法と排出方法が異なります。次の手順で全ての条件を満足する方法を確認してください。
用紙の仕様については、「使用できる用紙について」(リファレンス編)をご覧ください。

3章

1 用紙の種類、厚さ、サイズから給紙方法と排出方法を確認します。

◎:片面、両面印刷*2とも使用できます
○:片面印刷のみ使用できます
×:使用できません

種類	厚さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			用紙カセット*1		マルチパーパストレイ手差し	フェイスアップ(表排出)	フェイスダウン(裏排出)
			トレイ1	トレイ2, 3*2			
普通紙	連量 55～69kg	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*3	×	×	○	○	×
	連量 70～90kg	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*3	×	×	○	○	×
	連量 91～151kg	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*3	×	×	○	○	×
	連量 152～172kg	A4, A5, A6 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ カスタム*3	×	×	○	○	×
はがき*4	—	はがき, 往復はがき	○	×	○	○	×
封筒*4	—	封筒1(長形3号) 封筒2(長形4号) 封筒3(洋形4号) 封筒4(A4サイズ) Com-9, Com-10, DL C5, Monarch C4*7	×	×	○	○	×
ラベル紙*6	—	A4, レター	×	×	○	○	×
光沢紙*5*6	—	A4, レター	○	×	○	○	×
OHPシート*6	—	A4, レター	○	×	○	○	×

*1: 上から順にトレイ1、トレイ2、トレイ3となります。
*2: トレイ2、トレイ3、両面印刷はオプションです。
*3: カスタムは幅76.2～215.9mm、長さ127～1200mmです。
*4: はがき、封筒の用紙サイズを設定すると印刷速度が遅くなります。
*5: メディアタイプの[コウタクシ]は、光沢紙など表面に光沢のある印刷媒体に適したモードです。光沢紙は、白地に薄くトナーが付着しやすいため、印刷品質など、事前にテストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。
*6: ラベル紙、光沢紙、OHPシートのメディアタイプを設定すると印刷速度が遅くなります。
*7: C4封筒(229×324mm)を使用できますが、印刷品質は保証できません。

用紙カセットから印刷します

普通紙（A6はトレイ1のみ、カスタムサイズは除く）は用紙カセットから印刷します。はがき、OHPシートも（トレイ1のみ）印刷できます。
トレイ1～3とも同じ操作になります。

1 用紙カセットに用紙をセットします。

用紙ガイド
用紙ストッパ
ペーパーサイズプレート
用紙サイズ表示
プレート

❶ 用紙カセットを引き出します。

注 プレートについているゴムは、はがさないでください。

❷ 用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

❸ ペーパーサイズプレートをセットします。

❹ 用紙をよくさばき､上下左右をそろえます。

❺ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

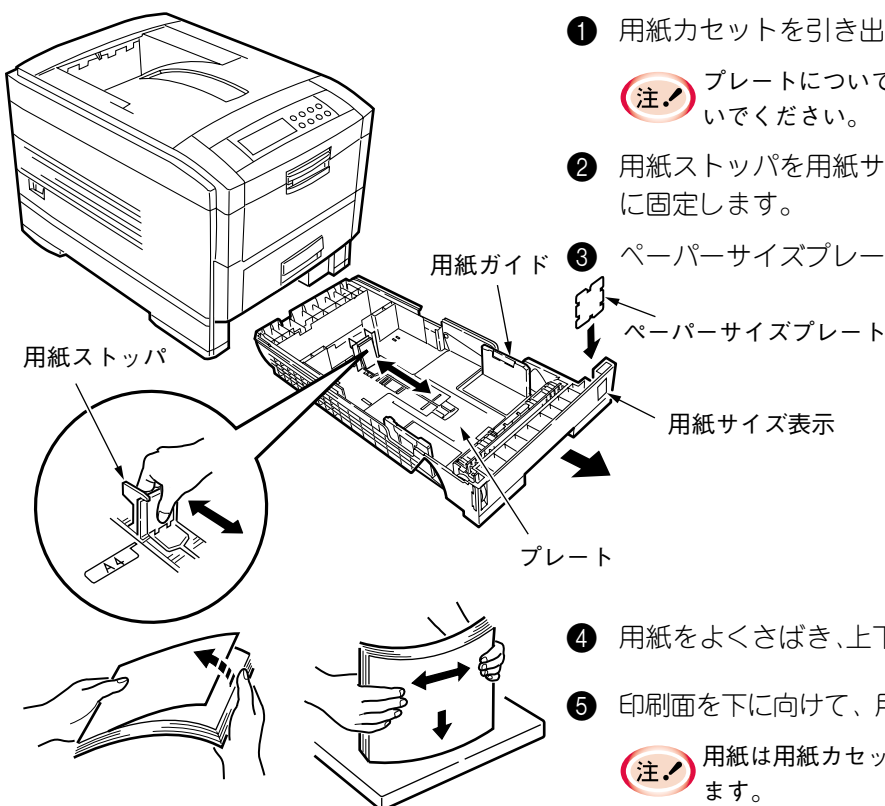
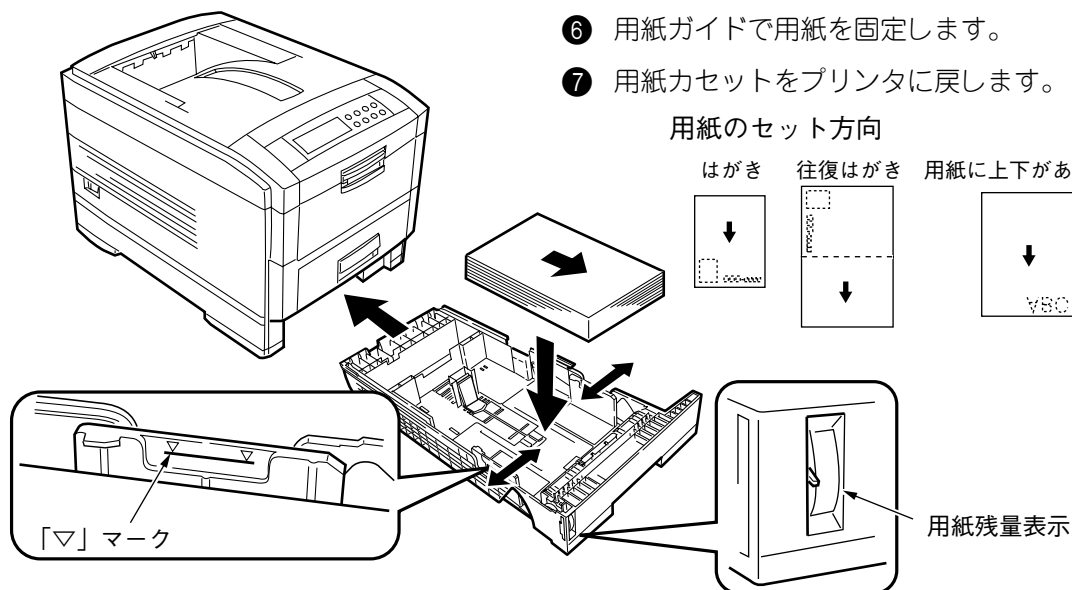
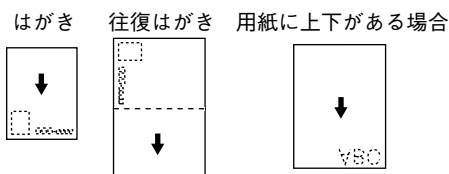
注 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。

❻ 用紙ガイドで用紙を固定します。

❼ 用紙カセットをプリンタに戻します。

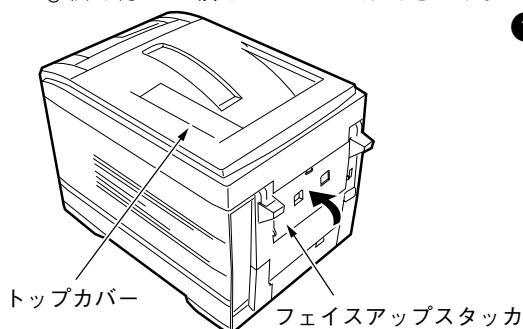
用紙のセット方向

はがき　往復はがき　用紙に上下がある場合

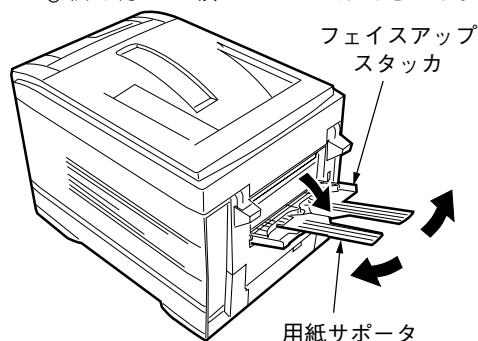
「▽」マーク
用紙残量表示

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。
- 用紙ガイドと用紙ストッパは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットしてください。（連量70kg紙で530枚）
- 用紙は縦送りでセットしてください。
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがきの反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは2mm以内に修正してください。
- 用紙カセットを差し込むときはあまり勢いよく押さないでください。
- 印刷中の用紙カセットおよび両面印刷（オプション）時のトレイ1の用紙カセットは引き出さないでください。
- 他のプリンタ等で一度印刷した用紙で、裏面印刷はしないでください。
- [メディア　メニュー] の [メディアウェイト] が [ジドウ] でかつ、[メディアタイプ] が [フツウシ] の場合、用紙の厚さはプリンタが自動的に検出するため、通常は設定する必要はありません。[メディアウェイト] と [メディアタイプ] は初期状態では各々 [ジドウ]、[フツウシ] に設定されています。OHPシート、ラベル紙、光沢紙など他のメディアタイプを選択する場合や、メディアウェイトを手動で設定する場合は、「手動で用紙の厚さを設定したい」（リファレンス編）をご覧ください。

2 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量70kg紙で約500枚をためることができます。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量70kg紙で約100枚ためることができます。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

- 印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。
- A6サイズ、はがき、OHPシート、光沢紙は、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。

メモ　次の用紙サイズを使用する場合は、操作パネル、Web ブラウザで用紙カセットの用紙サイズの設定をします。

- 往復はがき／はがき *、A5 ／ A6
- リーガル（14 インチ）*、リーガル（13.5 インチ）

  *:　工場出荷時の設定

ここでは、操作パネルでトレイ 1の用紙サイズをA5またはA6用紙に設定する手順を説明します。

❶ 0 を数回押し、［システム　ホセイ　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を数回押し、［トレイ１　Ａ５／Ａ６　ヨウシ］を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、［Ａ５／Ａ6］を表示します。

❹ 3 を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

3章

3 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

4 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

- Windows の［ワードパッド］を使い、トレイ 1 で A4 サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの［用紙厚］ではプリンタの操作パネルの［メディアウェイト］と同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（リファレンス編）をご覧ください。

メモ
- ［給紙方法］で［自動選択］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、「トレイを自動的に選択したい」（リファレンス編）をご覧ください。
- プリンタの操作パネルの［メディア　メニュー］で、あらかじめ各トレイごとに用紙のメディアタイプを設定しておくことにより、プリンタドライバの［給紙方法］で［普通紙］、［レターヘッド］、［OHP シート］、［ラベル紙］、［ボンド紙］、［再生紙］、［厚紙］、［粗い紙］、［光沢紙］を選択すると、その用紙がセットされているトレイを自動的に選択することができます。

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❻ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

マルチパーパストレイから印刷します

封筒、ラベル紙はマルチパーパストレイから印刷します。普通紙、はがき、OHP シートも印刷できます。

1 用紙をセットします。

❶ マルチパーパストレイを開き、用紙サポータを開きます。

❷ 手差しガイドを用紙サイズに合わせます。

❸ 用紙の上下左右をそろえます。

❹ 印刷面を上に向けて、用紙を手差しガイドにそってまっすぐ突き当たるまで差し込みます。

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。
- 手差しガイドは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 複数枚セットする場合は、手差しガイドの[↓]マークを越えないようにセットしてください。(連量 70kg 紙で 100 枚)
- 用紙は縦送りでセットしてください。
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは 2mm 以内に修正してください。
- 用紙は必ず縦送りでセットしてください。
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。
- [メディア　メニュー] の [メディアウェイト] が [ジドウ] でかつ、[メディアタイプ] が [フツウシ] の場合、用紙の厚さはプリンタが自動的に検出するため、通常は設定する必要はありません。[メディアウェイト] と [メディアタイプ] は初期状態では各々 [ジドウ]、[フツウシ] に設定されています。OHP シート、ラベル紙、光沢紙など他のメディアタイプを選択する場合や、メディアウェイトを手動で設定する場合は、「手動で用紙の厚さを設定したい」(リファレンス編) をご覧ください。

メモ

はがき、封筒、ラベル紙、OHP シートへの印刷については、「いろいろな用紙に印刷するための設定について」(リファレンス編) をご覧ください。

2 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量 70kg 紙で約 500 枚をためることができます。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量 70kg 紙で約 100 枚ためることができます。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

- 印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。
- 連量 152kg 以上の厚紙、A6 サイズ、はがき、封筒、ラベル紙、OHP シート、光沢紙、カスタムサイズは、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。

3 操作パネルでマルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。

メモ Web ブラウザからも設定できます。

ここでは、A4 用紙に設定する手順を説明します。

❶ (0) を数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ (1) または (5) を数回押し、［MP トレイ　ヨウシサイズ］を表示します。

❸ (2) または (6) を数回押し、［A 4］を表示します。

❹ (3) を押し、設定値の右側に「*」を付けます。

❺ (4) を押し、［オンライン］にします。

4 アプリケーションを起動します。

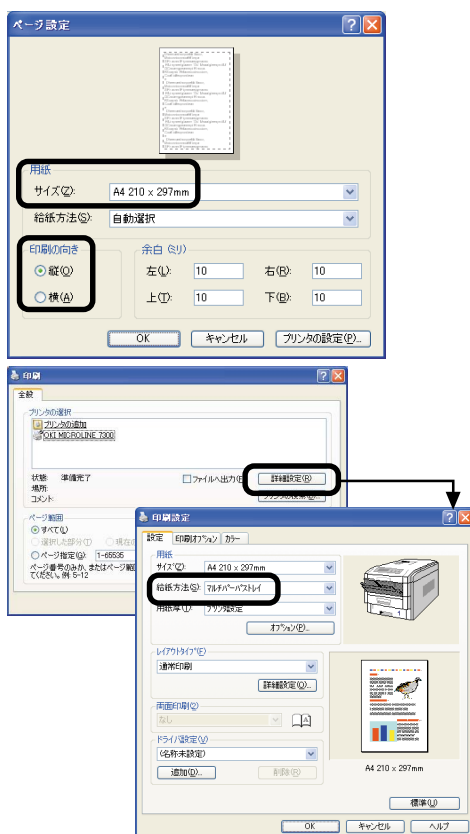
印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

注

- Windows の［ワードパッド］を使い、マルチパーパストレイで A4 サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの［用紙厚］ではプリンタの操作パネルの［メディアウェイト］と同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（リファレンス編）をご覧ください。

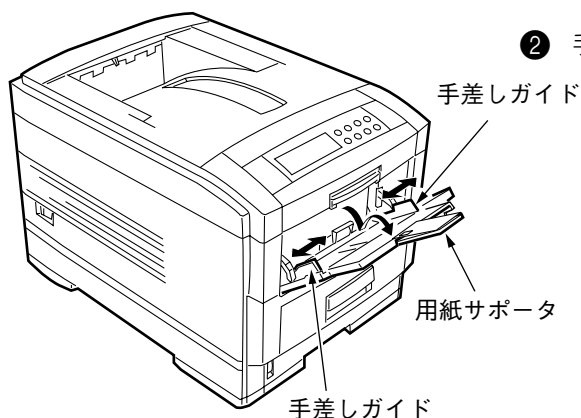
メモ

- ［給紙方法］で［自動選択］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、「トレイを自動的に選択したい」（リファレンス編）をご覧ください。
- プリンタの操作パネルの［メディア　メニュー］で、あらかじめ各トレイごとに用紙のメディアタイプを設定しておくことにより、プリンタドライバの［給紙方法］で［普通紙］、［レターヘッド］、［OHP シート］、［ラベル紙］、［ボンド紙］、［再生紙］、［厚紙］、［粗い紙］、［光沢紙］を選択すると、その用紙がセットされているトレイを自動的に選択することができます。

1. ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。
2. ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。
3. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
4. ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
5. ［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）
6. 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

手差しで1枚ずつ印刷します

マルチパーパストレイで手差し印刷をすることもできます。
コンピュータから印刷を実行した後にプリンタに用紙をセットし、1枚ずつ確認してから④スイッチを押して印刷をします。

メモ
- 通常とは違った用紙を少量ずつセットして印刷する場合などに便利です。
- ［システム　コウセイ　メニュー］の［マニュアル　タイムアウト］の設定時間を越えると印刷ジョブがキャンセルされますので、印刷ジョブを自動的に消したくない場合は、設定値を［オフ］にしてください。

1 マルチパーパストレイを準備します。

❶ マルチパーパストレイを開き、用紙サポータを開きます。

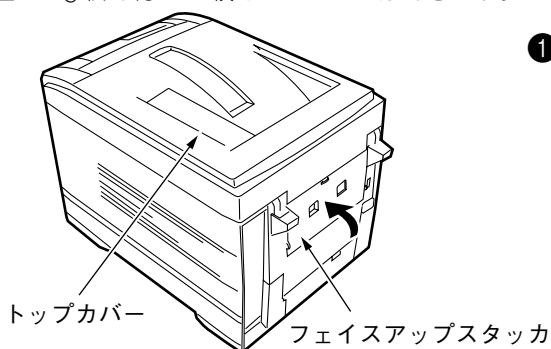
❷ 手差しガイドを用紙サイズに合わせます。

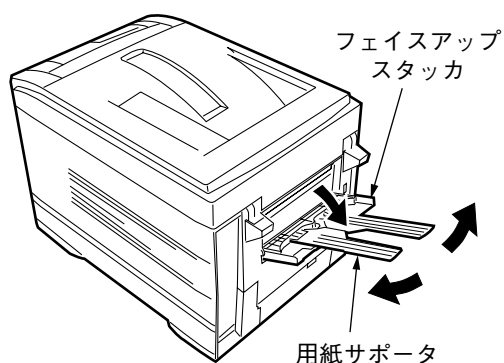
2　用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量70kg紙で約500枚をためることができます。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

3章

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量70kg紙で約100枚ためることができます。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

- 印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。
- 連量152kg以上の厚紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート、光沢紙、A6サイズ、カスタムサイズは、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。

3　アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

4 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択します。

- Windowsの［ワードパッド］を使い、手差しでA4サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの［用紙厚］ではプリンタの操作パネルの［メディアウェイト］と同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（リファレンス編）をご覧ください。

メモ　プリンタの操作パネルの［メディア　メニュー］で、あらかじめ各トレイごとに用紙のメディアタイプを設定しておくことにより、プリンタドライバの［給紙方法］で［普通紙］、［レターヘッド］、［OHPシート］、［ラベル紙］、［ボンド紙］、［再生紙］、［厚紙］、［粗い紙］、［光沢紙］を選択すると、その用紙がセットされているトレイを自動的に選択することができます。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［オプション］をクリックし、「マルチパーパストレイ設定」の［手差しとして扱う］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

❻［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

5 用紙をセットします。

プリンタの操作パネルに「A4 ヲ　MP トレイニイレテ　オンライン　スイッチヲ　オシテクダサイ」と表示されたら、用紙をマルチパーパストレイにセットします。

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。
- 手差しガイドは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 複数枚セットする場合は、手差しガイドの[↓]マークを越えないようにセットしてください。(連量 70kg 紙で 100 枚)
- 用紙は縦送りでセットしてください。
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは 2mm 以内に修正してください。
- 用紙は必ず縦送りでセットしてください。
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。
- [メディア　メニュー] の [メディアウェイト] が [ジドウ] でかつ、[メディアタイプ] が [フツウシ] の場合、用紙の厚さはプリンタが自動的に検出するため、通常は設定する必要はありません。[メディアウェイト] と [メディアタイプ] は初期状態では各々 [ジドウ]、[フツウシ] に設定されています。OHP シート、ラベル紙、光沢紙など他のメディアタイプを選択する場合や、メディアウェイトを手動で設定する場合は、「手動で用紙の厚さを設定したい」(リファレンス編) をご覧ください。

メモ　はがき、封筒、ラベル紙、OHP シートへの印刷については、「いろいろな用紙に印刷するための設定について」(リファレンス編) をご覧ください。

6 操作パネルで ④「オンライン」スイッチを押します。

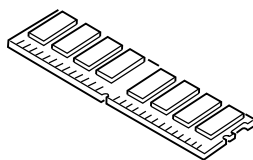
印刷が開始されます。

注　[システム　コウセイ　メニュー] で設定されている [マニュアル　タイムアウト] の時間内に ④ スイッチを押さないと、印刷はキャンセルされます。

4 オプション品について

増設メモリ

プリンタのメモリ容量を増やすボードです。両面印刷するときや、複雑なデータでメモリ不足のエラーがでるときに追加します。

ML64MB 増設メモリ
ML128MB 増設メモリ
ML256MB 増設メモリ
ML512MB 増設メモリ

標準メモリ	空きスロット	両面印刷（推奨）	最大メモリ
64MB	2	＋64MB(合計128MB)	1024MB

- 最大メモリにするには、標準メモリを取り外す必要があります。
- 「きれい」（600 × 1200dpi）で印刷する場合、64MB 以上のメモリを追加（合計 128MB 以上）する必要があります。
- 必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。
- メモリ用スロットは全部で 3 スロットあります。

1 プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注 電源を ON のまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（22 ページ）をご覧ください。

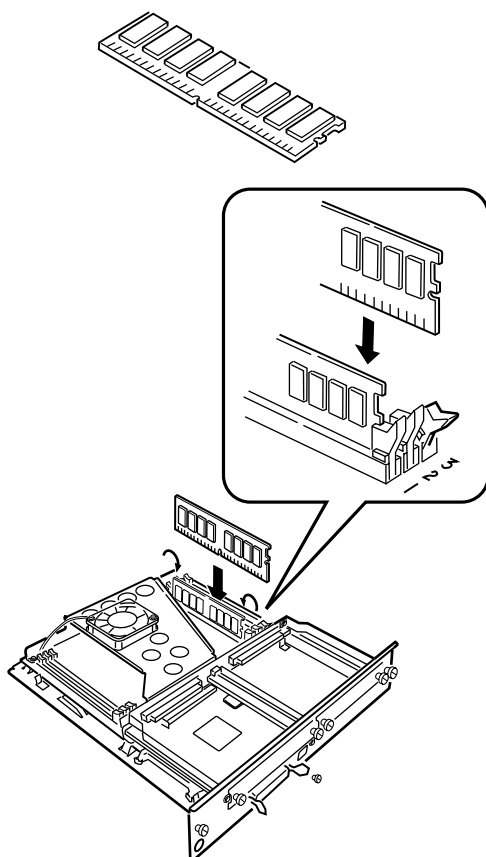
2 コントロール基板を引き出します。

❶ ネジ（2 ケ所）をゆるめます。

❷ コントロール基板を引き出します。

❸ コントロール基板を平らなテーブルの上に置きます。

注 電子部品やコネクタ端子部はさわらないでください。

3 メモリを取り付けます。

❶ メモリを袋から取り出す前に、袋を金属部に接触させて静電気を除去します。

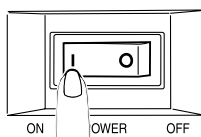
❷ 空きスロットにメモリを差し込みます。

❸ 左右のロックレバーで確実に固定されていることを確認します。

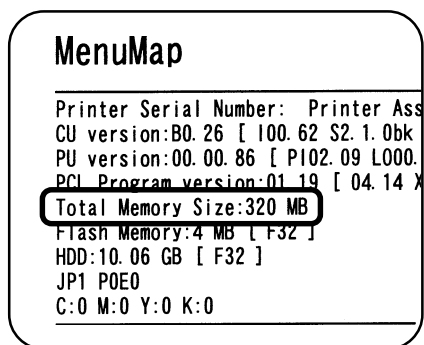
4 コントロール基板を戻します。

❶ レールに合わせて確実にコントロール基板を戻します。

❷ ネジ（2ケ所）で固定します。

5 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

メニューマップ印刷を行い、増設メモリが正しく取り付けられていることを確認します。

MenuMap

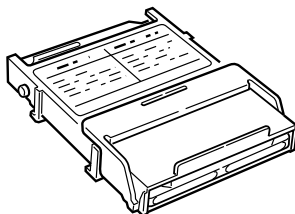
Printer Serial Number: Printer Ass
CU version:B0.26 [100.62 S2.1.0bk
PU version:00.00.86 [P102.09 L000.
PCL Program version:01.19 [04.14 X
Total Memory Size:320 MB
Flash Memory:4 MB [F32]
HDD:10.06 GB [F32]
JP1 P0E0
C:0 M:0 Y:0 K:0

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（23ページ）をご覧ください。

❷「Total Memory Size」に表示される総メモリ量を確認します。

内蔵ハードディスク

プリンタに追加する内蔵ハードディスクです。確認印刷、認証印刷、印刷ジョブの保存、スプール印刷をするときに使用します。

ハードディスクを装着した場合は、シャットダウンメニューを実行して電源を切ってください。いきなり電源を切ると、ハードディスクに損傷を与え、使用不能になることがあります。

メモ　ハードディスクは、「PCL」および2つの「キョウツウ」パーティションに分割されており、出荷時またはハードディスク初期化時には各パーティションのサイズは下記のように割り当てられます。

PCL	20%（2GB）
キョウツウ	50%（5GB）
キョウツウ	30%（3GB）

1　プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（22ページ）をご覧ください。

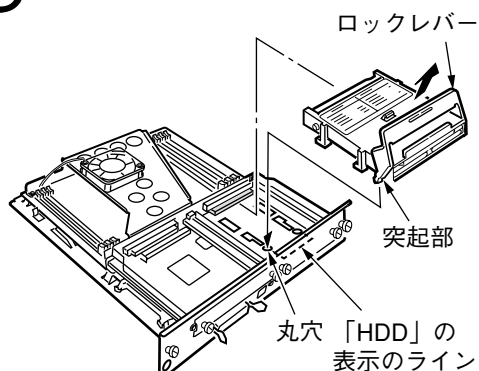
2　コントロール基板を引き出します。

❶ ネジ（2ケ所）をゆるめます。

❷ コントロール基板を引き出します。

❸ コントロール基板を平らなテーブルの上に置きます。

電子部品やコネクタ端子部はさわらないでください。

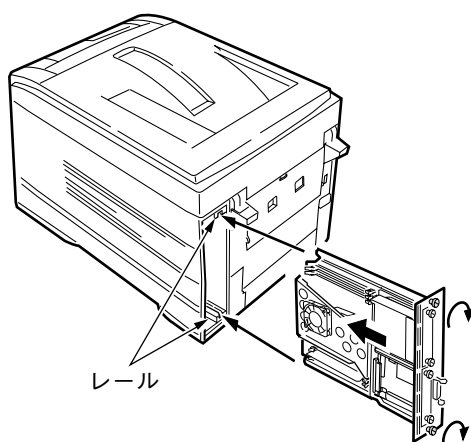
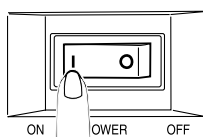
3 内蔵ハードディスクを取り付けます。

❶ 内蔵ハードディスクのロックレバーを引き起こして持ちます。

❷ コントロール基板上の「HDD」の表示のラインに合わせて内蔵ハードディスクをセットし、ロックレバーの突起部をコントロール基板の丸穴に入れます。

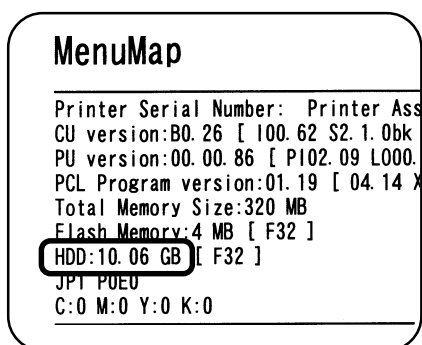
❸ ロックレバーをカチッと音がするまで倒します。

4 コントロール基板を戻します。

❶ レールに合わせて確実にコントロール基板を戻します。

❷ ネジ（2ケ所）で固定します。

5 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

6 メニューマップ印刷を行い、内蔵ハードディスクが正しく取り付けられていることを確認します。

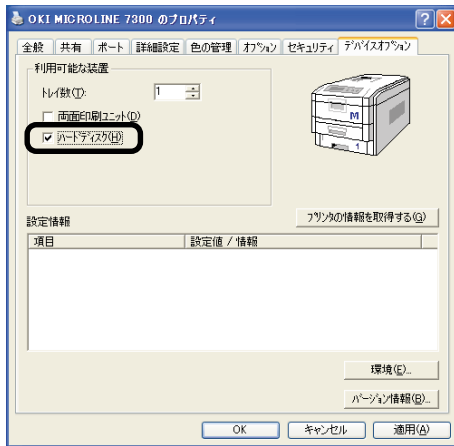
MenuMap

Printer Serial Number: Printer Ass
CU version:B0.26 [100.62 S2.1.0bk
PU version:00.00.86 [P102.09 L000.
PCL Program version:01.19 [04.14 X
Total Memory Size:320 MB
Flash Memory:4 MB [F32]
HDD:10.06 GB [F32]
JPT POEO
C:0 M:0 Y:0 K:0

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（23ページ）をご覧ください。

❷ 「HDD」に内蔵ハードディスクの容量が表示されていることを確認します。

7 プリンタドライバで［ハードディスク］を設定します。

注 WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

（WindowsXP の画面）

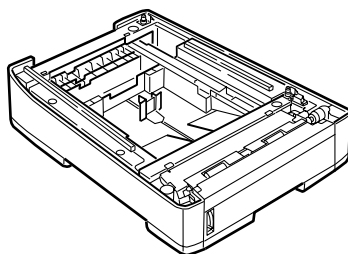
❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

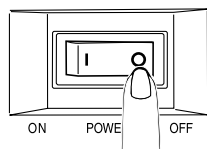
❷ ［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［ハードディスク］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

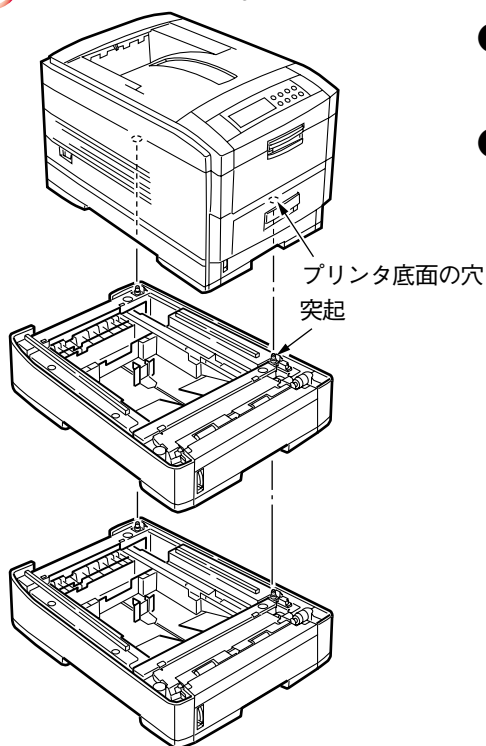
メモ TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

セカンド/サードトレイユニット

プリンタにセットできる用紙量を増やすトレイで、2段まで増設できます。連量70kg紙の場合530枚セットでき、標準の用紙カセット、マルチパーパストレイと合わせて1,690枚を連続して印刷できるようになります。

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注 電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（22ページ）をご覧ください。

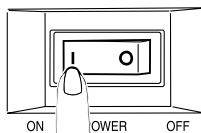
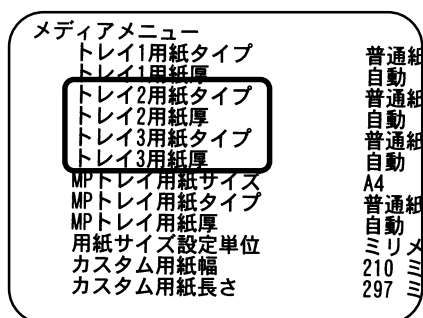
2 プリンタをセカンド/サードトレイユニットに載せます。

注 プリンタは約47.5kgあります。2人以上で持ち上げてください。

❶ プリンタ底面の穴とセカンド/サードトレイユニットの突起を合わせます。

❷ プリンタをセカンド/サードトレイユニットの上に静かに載せます。

取り外しは取り付けの逆の手順で行います。

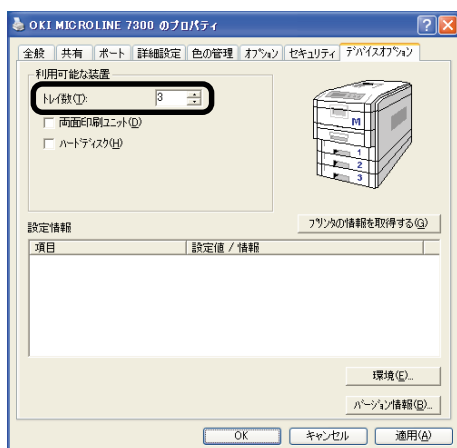
メモ 2段増設する場合は、下段になるセカンド/サードトレイユニットの上に、上段になるセカンド/サードトレイユニットを静かに載せ、その上にプリンタを載せます。

3 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

4 メニューマップ印刷を行い、セカンド/サードトレイユニットが正しく取り付けられていることを確認します。

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（23 ページ）をご覧ください。

❷「メディアメニュー」に「トレイ2」または「トレイ 3」が表示されていることを確認します。

5 プリンタドライバでトレイの数を設定します。

注 WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

（WindowsXP の画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

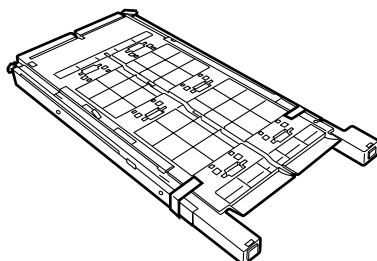
❸［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［トレイ数］で現在のトレイの総数を入力し、［OK］をクリックします。

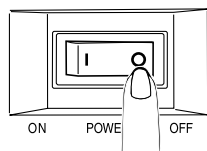
メモ TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

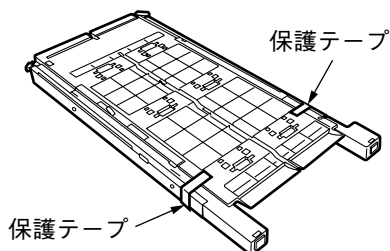
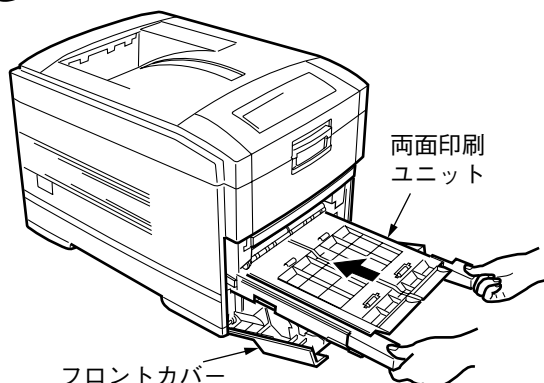
4章

両面印刷ユニット

用紙の両面に印刷するユニットです。

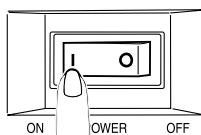
- 両面印刷には増設メモリの追加が必要です。詳しくは「増設メモリ」（70 ページ）をご覧ください。
- 両面印刷ユニットは一度取り付けると取り外すことができません。

1 プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注 電源を ON のまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（22 ページ）をご覧ください。

2 両面印刷ユニットの保護テープ（2ヶ所）をはがします。

3 両面印刷ユニットを取り付けます。

❶ フロントカバーを開きます。

❷ 両面印刷ユニットを奥までしっかりと差し込みます。

❸ フロントカバーを閉じます。

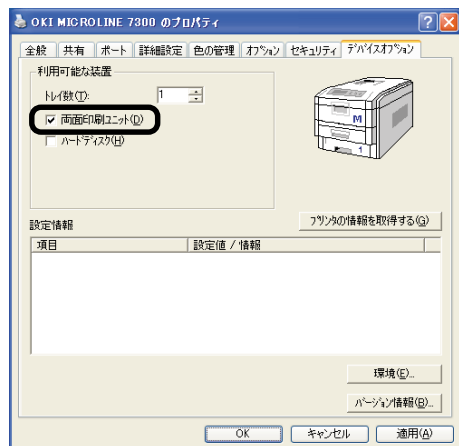
4 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

5 メニューマップ印刷を行い、両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認します。

印刷メニュー

コピー枚数	1
両面印刷	オフ
給紙トレイ	トレイ1
自動トレイ切り替え	オン
トレイ選択順序	下方向
MPトレイの使い方	用紙違いの
用紙チェック	有効
OHP 検出	有効
解像度	600DPI
トナーセーブモード	オフ
モノクロ印刷速度	自動
印刷方向	縦
1ページ行数	64 行
編集サイズ	カセット用

❶ メニューマップ印刷をします。
詳しくは「メニューマップ印刷をします」(23 ページ)をご覧ください。

❷ 「印刷メニュー」に「両面印刷」が表示されていることを確認します。

プリンタドライバで［両面印刷ユニット］を設定します。

注 WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

（WindowsXP の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［両面印刷ユニット］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

メモ TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

4章

5 メンテナンスをします

メモ 以下の項目は、「ユーザーズマニュアル（リファレンス編）」の「1　メンテナンスをします」をご覧ください。

- ベルトユニットを交換します
- 定着器ユニットを交換します
- 給紙部品を交換します
- LEDヘッドを清掃します
- 色ずれ補正調整をします
- 濃度補正調整をします
- プリンタ表面を清掃します
- プリンタを輸送するとき

トナーカートリッジを交換します

トナーカートリッジの交換の目安

トナーが少なくなると操作パネルに［＊＊＊　トナーコウカン　ジュンビ］（＊＊＊は各色を表わします）のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。そのまま印刷を続けると［トナーヲ　イレテクダサイ］を表示して印刷を停止しますので、トナーカートリッジを交換してください。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、イメージドラムカートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーカートリッジ交換の目安は、5%の印刷密度の場合（1ページの印刷可能領域でトナーのついている面積の割合）、A4サイズの用紙（縦送り、片面印刷時）で約5,000枚（大容量トナーカートリッジは約10,000枚）です。新しいドラムカートリッジに1本目のトナーカートリッジを取りつけたときには、交換の目安の枚数は約半分になります。これは、新しいイメージドラムカートリッジ内にトナーが入っていないので、1本目のトナーカートリッジからトナーを充填するためです。

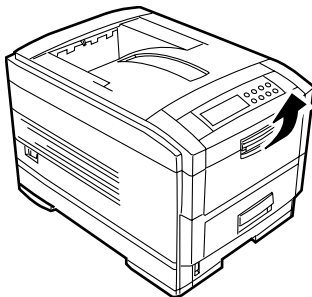
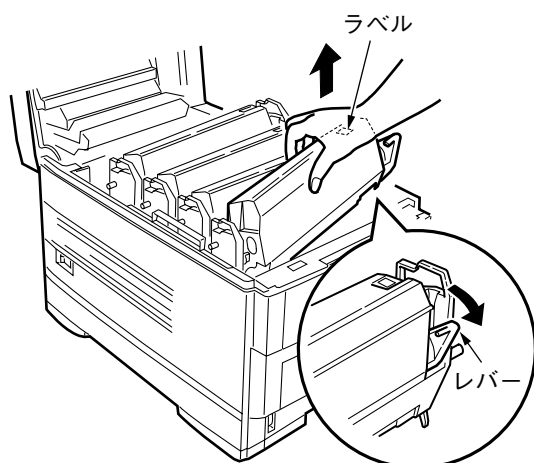
オンライン　　　　　　　　　．ＰＣＬ ＊＊＊　トナーコウカン　ジュンビ	→	トナーヲ　イレテクダ゛サイ ｎｎｎ：＊＊＊

- 開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- ［トナーヲ　イレテクダサイ］表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、イメージドラムカートリッジの故障の原因となりますので、必ずトナーカートリッジを交換してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

トナーカートリッジを交換します

1　トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

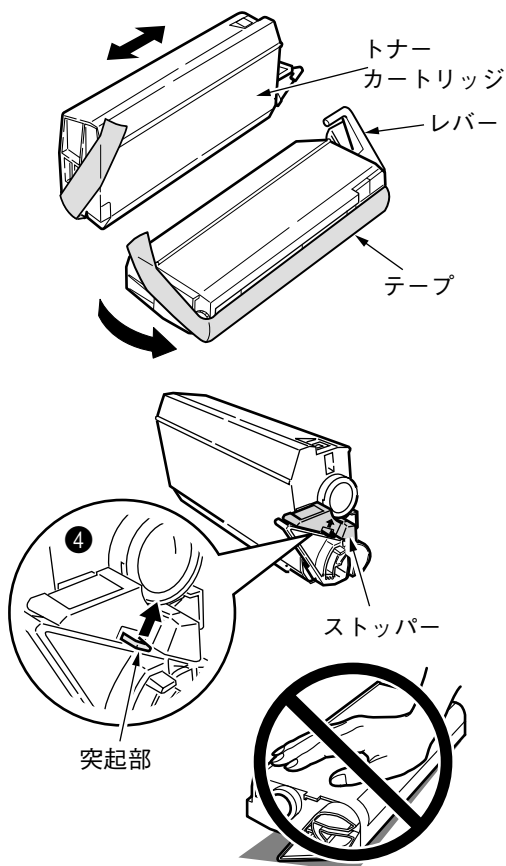
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2　使用済みのトナーカートリッジを取り出します。

❶ 交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認します。

❷ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

❸ トナーカートリッジのレバー側を持ち上げ、横にずらすようにして取り出します。

メモ　使用済みトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」（102ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

3　新しいトナーカートリッジをセットします。

❶ 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

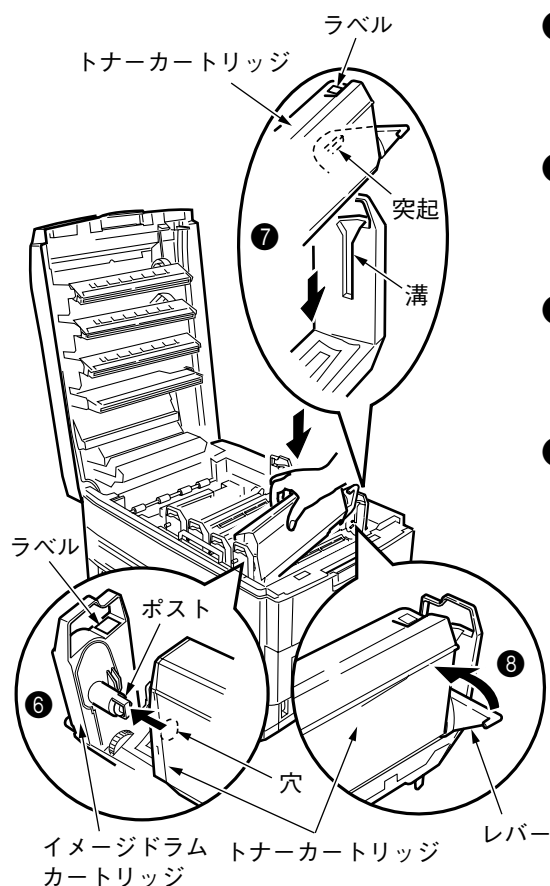
注　新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーカートリッジのレバーがロックされていることを確認してから、トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

❹ レバーのストッパー（オレンジ色）を外します。突起部を矢印方向に押すと外れます。

注　トナーカートリッジを裏返した状態で荷重をかけないでください。レバーが動き、トナーがこぼれる場合があります。

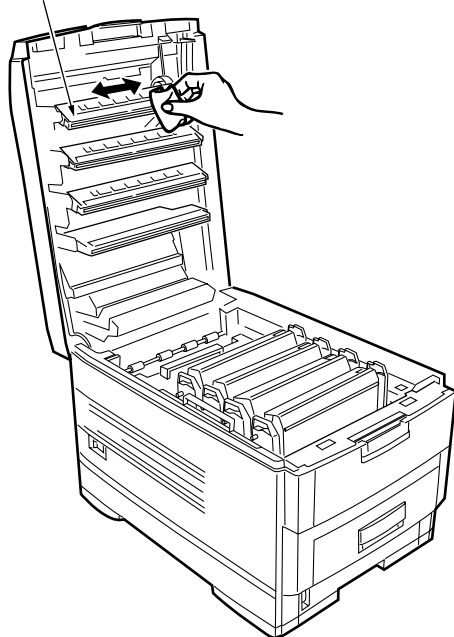
5章

❺ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

❻ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❼ トナーカートリッジの突起をイメージドラムカートリッジの溝に合わせしっかり押し込みます。

❽ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

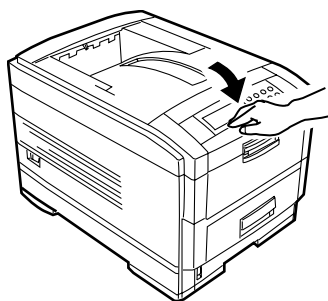
注
- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。ラベルの色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

4 LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパでLEDヘッド全体を軽く拭きます。

メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

メモ LEDレンズクリーナは、別売の交換用トナーカートリッジにも添付されています。

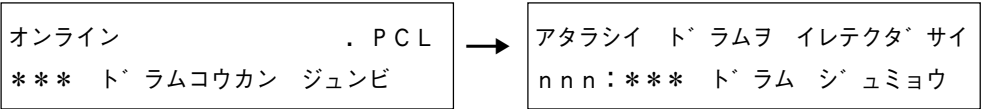
5 トップカバーを閉じます。

注 トナーカートリッジの交換後に、操作パネルの［トナーフソク］または［トナーヲ　イレテクダサイ］の表示がいつまでも消えないときは、トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
また、「トナーセンサエラー」が表示された場合、トナーカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

5章

イメージドラムカートリッジを交換します

イメージドラムカートリッジ交換の目安

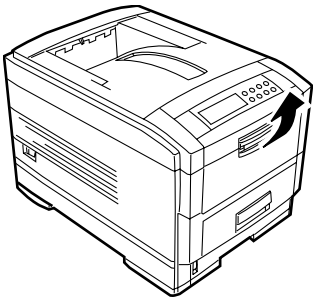
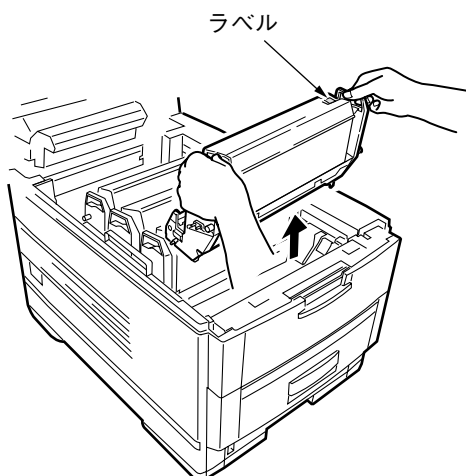
イメージドラムカートリッジが寿命になると操作パネルに［＊＊＊　ドラムコウカン　ジュンビ］（＊＊＊は各色を表わします）のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると［アタラシイ　ドラムヲ　イレテクダサイ］を表示して印刷を停止します。
イメージドラムカートリッジ交換の目安は、A4サイズの用紙（縦送り、片面印刷時）で約20,000枚です。ただし、これは一般的な使用状況（一度に3枚ずつ）で印刷した場合の枚数です。1枚ずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。（連続印刷で約30,000枚に相当します。）

オンライン　　　　　　　　．ＰＣＬ ＊＊＊　ト゛ラムコウカン　ジュンビ	→	アタラシイ　ト゛ラムヲ　イレテクタ゛サイ ｎｎｎ：＊＊＊　ト゛ラム　シ゛ュミョウ

- 開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

イメージドラムカートリッジを交換します

1　トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのイメージドラムカートリッジを取り出します。

❶ 交換するイメージドラムカートリッジをラベルの色で確認します。

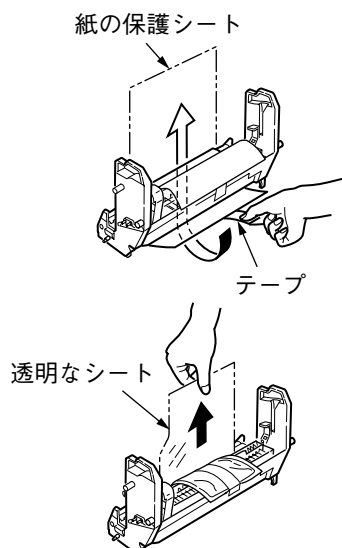
❷ イメージドラムカートリッジを取り出します。イメージドラムカートリッジを取り出すと、トナーカートリッジも一緒に取り出されます。

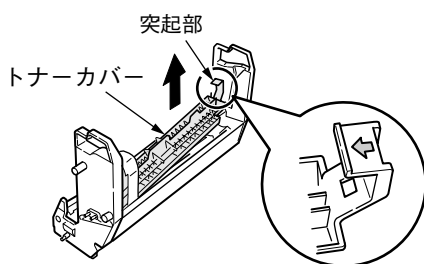
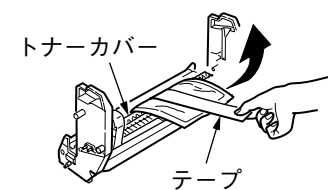
メモ　使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」（102ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

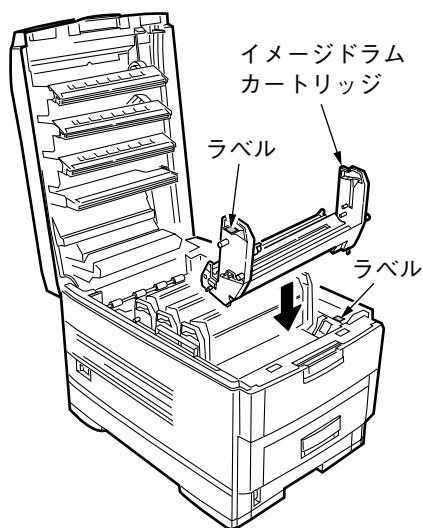
⚠警告	使用済みのイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

3 新しいイメージドラムカートリッジをセットします。

❶ 新しいイメージドラムカートリッジを包装袋から取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

- 新しいイメージドラムカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。
- トナーの飛散に注意して作業してください。
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

❷ 紙の保護シートをとめているテープをはがし、イメージドラムカートリッジから紙の保護シートを矢印の方向に引き抜きます。

❸ 透明なシートを矢印の方向に引き抜きます。

❹ トナーカバーを固定しているテープをはがし、突起部を内側に押しながらトナーカバーを取り外します。

メモ　トナーカバーは不燃物として処理してください。

❺ イメージドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色が合っていることを確認します。

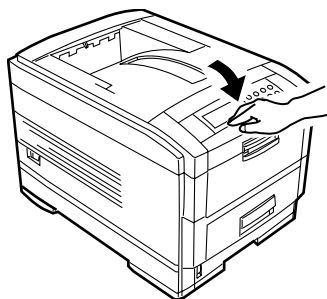
❻ イメージドラムカートリッジを静かにセットします。

4 新しいトナーカートリッジをセットします。

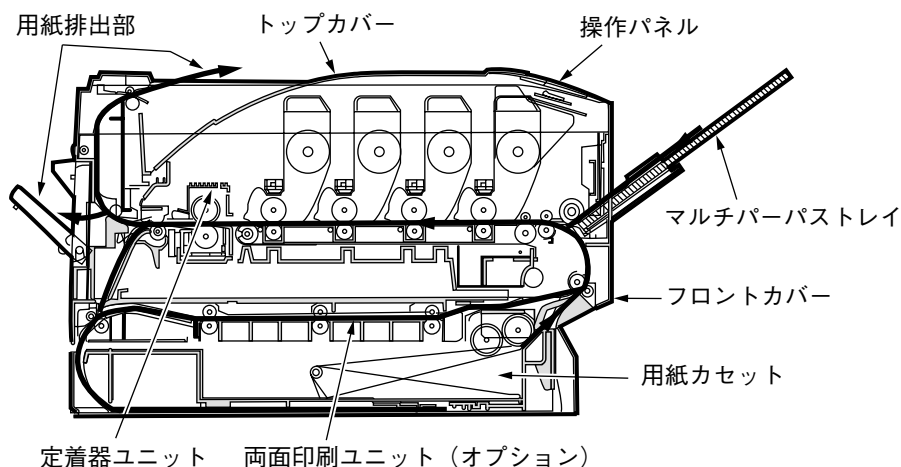
詳しくは「トナーカートリッジを交換します」（82 ページ）をご覧ください。

今まで使用していたトナーカートリッジをセットすることも可能ですが、以下の理由により、新しいトナーカートリッジを使用されることを推奨します。

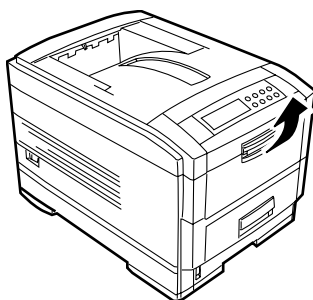
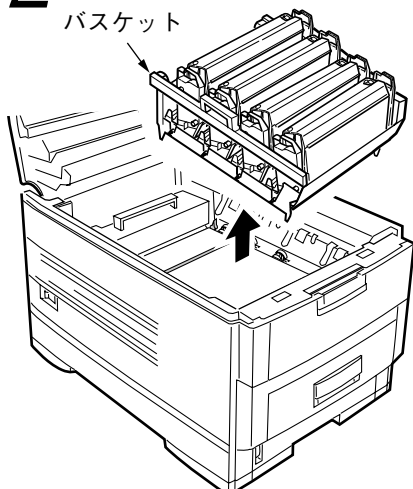
- 今まで使用していたトナーカートリッジが開封後1年以上経過している場合は、印刷品質が低下する可能性があります。
- 新しいイメージドラムカートリッジ内にはトナーが入っていないため、セットしたトナーカートリッジからトナーが充填されます。残量の少ないトナーカートリッジをセットした場合、すぐに「トナーヲ　コウカンシテクダサイ」のメッセージが表示される場合があります。
- 今まで使用していたトナーカートリッジをセットした場合、「トナーコウカン　ジュンビ」のメッセージが表示されるまでのトナー残量表示が不正確となります。

5 トップカバーを閉じます。

6 紙づまりになったとき

紙づまりになったとき

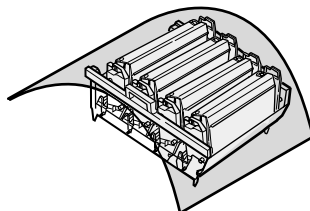
紙づまりが発生すると操作パネルに［ヨウシ　ジャム］メッセージが表示されます。次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1 トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

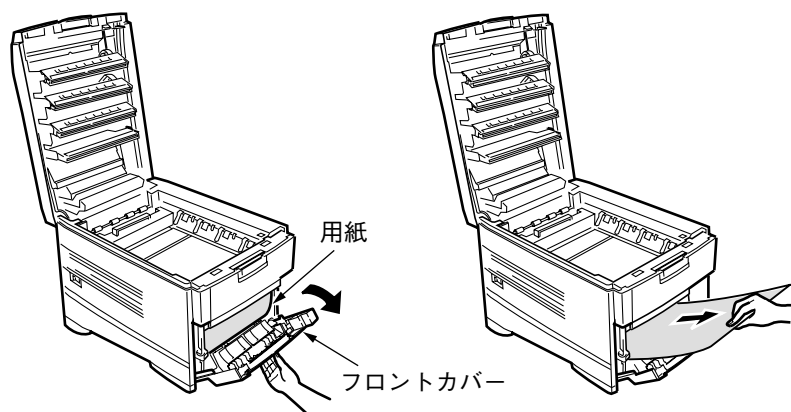
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 イメージドラムカートリッジを取り出します。

❶ イメージドラムカートリッジ（4個）をバスケットごと取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

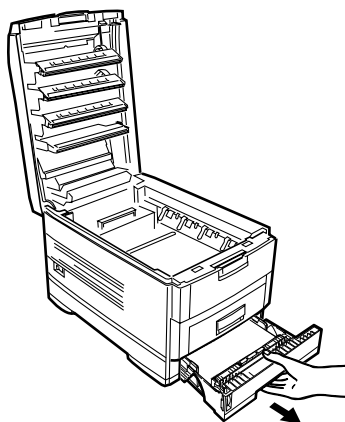
❷ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

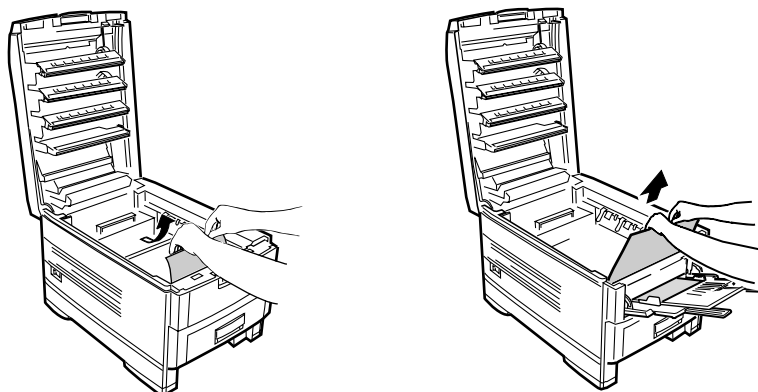
注

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも、5分間以上は放置しないでください。

3 つまった用紙を取り除きます。

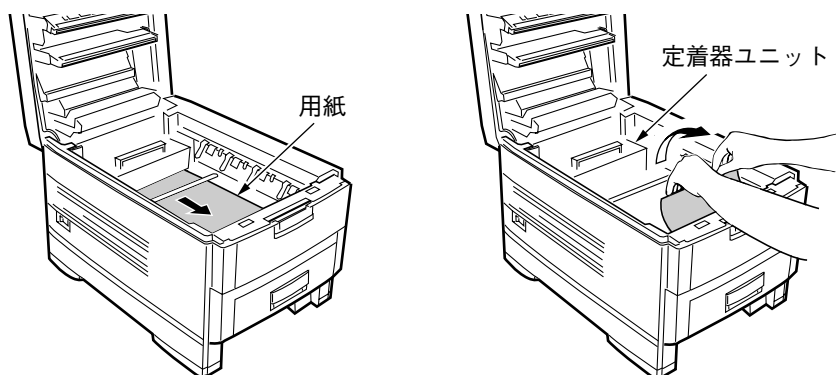
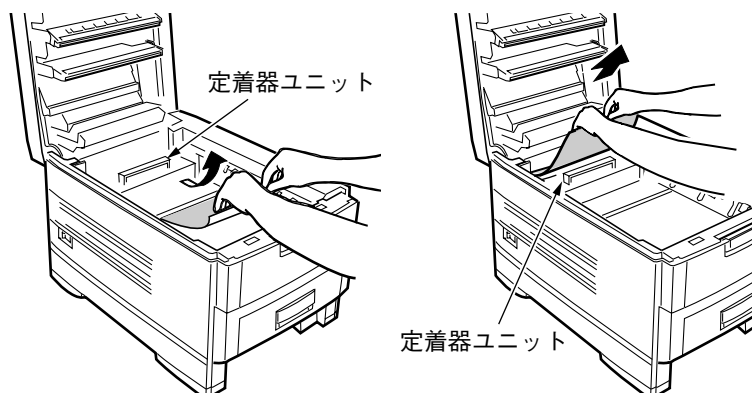
フロントカバー部

フロントカバーを開け、用紙の後端が見えている場合は、つまっている用紙をゆっくり引き出します。

用紙カセット部

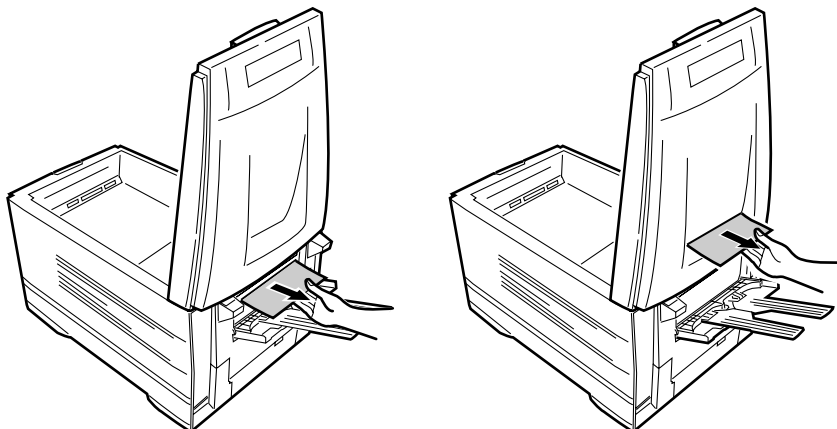
用紙カセットを引き出し、つまっている用紙を取り除きます。

トップカバー内部

用紙の先端が見えている場合は、つまっている用紙をゆっくり引き出します。

用紙の先端も後端も見えない場合は、つまっている用紙を矢印方向にずらしてからゆっくり引き出します。

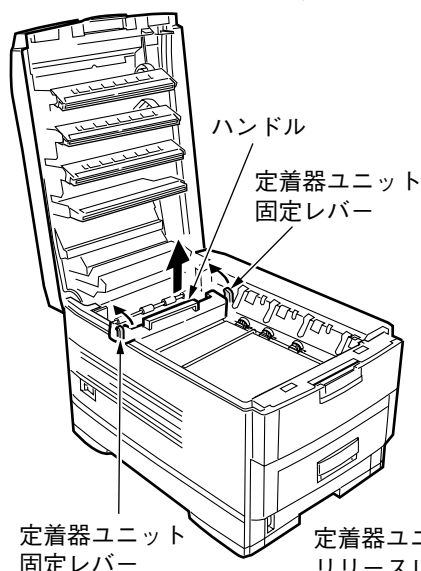
用紙の後端が見えている場合は、つまっている用紙をゆっくり引き出します。

6
章

用紙排出部

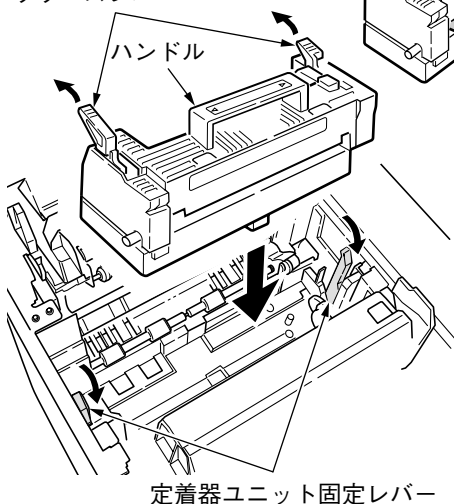
排出口から用紙をゆっくり引き出します。

用紙排出部でつまった場合でも、トップカバー内部に用紙が見えている場合は、プリンタ内側に用紙を引き出してください。無理に後ろに引き出すと定着器ユニットを傷めるおそれがあります。

定着器ユニット部

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないように十分注意してください。熱いときは無理をせず、少し冷めるまで待ってから用紙を取ってください。

❶ 定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を矢印の方向へ倒します。

❷ ハンドルを持ち定着器ユニットを取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

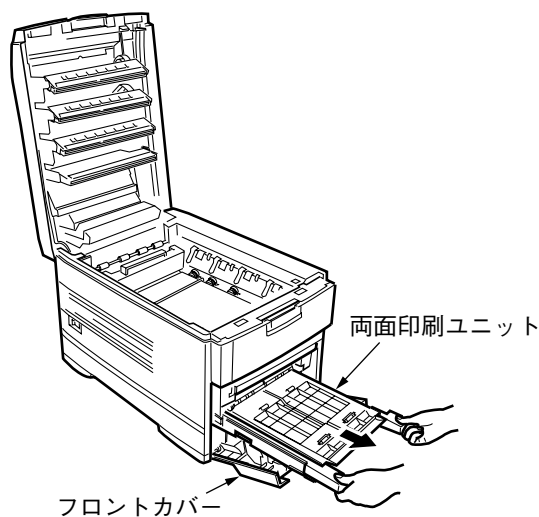
❸ 定着器ユニットのリリースレバー（青色2ヶ所）を矢印の方向に倒し、つまった用紙をゆっくり引き出します。

❹ ハンドルを持ち、定着器ユニットをプリンタの中へ静かに戻します。

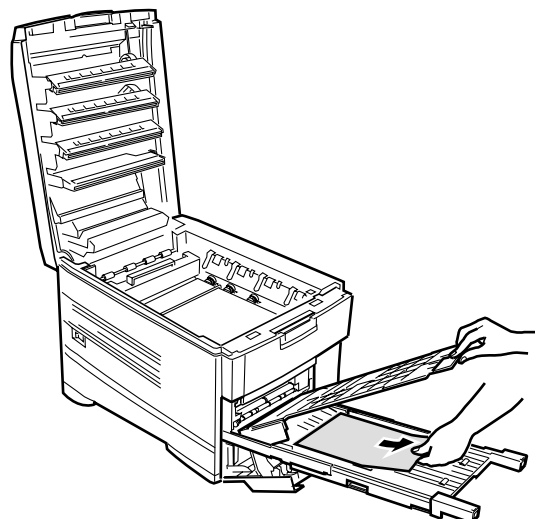
❺ 定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）で固定されるまで、しっかりと押し込みます。

❻ 定着器ユニットのリリースレバー（青色2ヶ所）を矢印の方向に戻します。

注

- 定着器ユニット部のつまった用紙を取り除いた後は、定着器ユニット内部に未定着のトナーが残っていることがあるため、メニューマップ（「メニューマップ印刷をします」(23ページ)）、白紙等を数回印刷してください。
- プリンタの電源をONにしたとき、操作パネルに［サービスコール／173：エラー］または［サービスコール／177：エラー］が表示された場合は、プリンタの電源をOFFにし、定着器ユニットを取り付け直してください。

6章

両面印刷ユニット部（オプション）

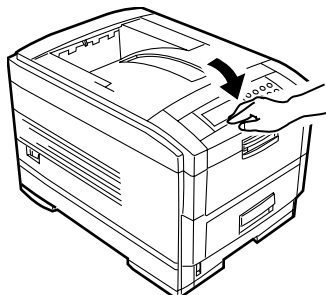
❶ フロントカバーを完全に開き、両面印刷ユニットを完全に引き出します。

❷ 両面印刷ユニットを開き、つまっている用紙を取り出します。

❸ 両面印刷ユニットを戻し、フロントカバーを閉じます。

注 セカンド/サードトレイユニット（オプション）から給紙したときに紙づまりが発生した場合は、それぞれの用紙走行部に用紙が残っていないか確認してください。また、トップカバーを一旦開閉しないとアラーム表示を解除できません。

---

4 イメージドラムカートリッジを戻し、トップカバーを閉じます。

付　録

消耗品・メンテナンスユニット・オプション一覧

これらの消耗品、メンテナンスユニット、オプションは、お近くの販売店またはサービス拠点（101ページ）でお求めください。

品　名	型　名	内　容
MLカラーOHPシート	MLOHP01	専用OHPシート
トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C4AK1	トナーカートリッジ LEDレンズクリーナ クリーニングペーパ
トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C4AY1	
トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C4AM1	
トナーカートリッジ　シアン	TNR-C4AC1	
大容量トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C4AK2	トナーカートリッジ LEDレンズクリーナ クリーニングペーパ
大容量トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C4AY2	
大容量トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C4AM2	
大容量トナーカートリッジ　シアン	TNR-C4AC2	
イメージドラムカートリッジ　ブラック	ID-C4AK	イメージドラムカートリッジ
イメージドラムカートリッジ　イエロー	ID-C4AY	
イメージドラムカートリッジ　マゼンタ	ID-C4AM	
イメージドラムカートリッジ　シアン	ID-C4AC	
ベルトユニット	MLBLT-C4A	ベルトユニット
定着器ユニット	MLFUS-C4A	定着器ユニット
ML64MB増設メモリ	MLMEM64A	増設メモリ
ML128MB増設メモリ	MLMEM128A	増設メモリ
ML256MB増設メモリ	MLMEM256A	増設メモリ
ML512MB増設メモリ	MLMEM512A	増設メモリ
内蔵ハードディスク	MLHDD-C1A	内蔵ハードディスク
セカンド/サードトレイユニット	MLTRY-C4A1	セカンド/サードトレイユニット
両面印刷ユニット	MLDXU-C4A	両面印刷ユニット
給紙ローラセット	MLRS-C4A	
プリントジョブアカウンティング	MLSFT-PJA01	

- 消耗品、メンテナンスユニット、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、開封後1年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度：0～35˚C、湿度：20～85%RH範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

ユーザサポートサービスについて

保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは、「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 保証期間経過後は、修理によって本プリンタの性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、お客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

最新版のプリンタソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。
http://www.okidata.co.jp

プリンタのご相談と修理について

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。

お客様相談センター　　0120-654-632

（携帯電話からは 03-5833-5710）

受付時間　9 : 00 ～ 20 : 00 月曜日～金曜日
9 : 00 ～ 17 : 00 土曜日
(但し　祝日を除く)

※ 月曜日～金曜日の 17:30 ～ 20:00 及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。
※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

■西日本地区（東海・北陸以西）での修理のご依頼をお受けします。

西日本 OA コールセンタ（大阪）　　0120-003-544

（携帯電話からは 06-6459-0111）

受付時間　9 : 00 ～ 17 : 30 月曜日～金曜日
(但し　祝日を除く)

※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンタのサポートサービスは(株)沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。

— お問い合わせに回答できない場合について —

1. UNIX 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5. プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境

機種名：＿＿＿＿＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　購入月：＿＿＿＿年＿＿月

追加オプション：　なし　・　あり（　　　　　　　　　　）

コンピュータ環境

□Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□Mac OS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

接続方法

□パラレル　□USB　□ネットワーク

□TCP/IP　□IPX/SPX　□EtherTalk　□NetBEUI

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

アプリケーションソフト

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

使用フォント名：＿＿＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）

コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

プリンタの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

その他

他のアプリケーションからの印刷：□正常　□印刷できない

他のコンピュータからの印刷　　：□正常　□印刷できない

消耗品を購入したい

プリンタをお買い上げいただいた販売店、またはお近くのサービス拠点へお電話でご連絡ください。

(株)沖北海道サービス(札幌)	〒060-0001	札幌市中央区北一条西9-3-27(第3古久根ビル)	011-261-3261
(株)沖東北サービス(仙台)	〒980-0802	仙台市青葉区二日町3-10(グランシャリオビル3F)	022-212-5167
(株)沖情報機器サービス(新潟)	〒950-0082	新潟市東万代町1-30 (新潟第一生命戸田建設共同ビル)	025-241-6838
(株)沖関東サービス(秋葉原)	〒111-0052	台東区柳橋2-19-6(秀和柳橋ビル9F)	03-3865-6599
(株)沖北関東サービス(新宿)	〒160-0022	新宿区新宿2-19-1(ビックス新宿ビル3F)	03-3225-3131
(株)沖中部サービス(名古屋)	〒453-0861	名古屋市中村区岩塚本通2-1-2(MSビル2F)	052-413-6510
(株)沖電気カスタマアドテック(金沢)	〒921-8163	金沢市横川7-35-1(大洋不動産ビル7F)	076-242-3300
(株)沖関西サービス(大阪)	〒550-0004	大阪市西区靱本町1-4-12(本町富士ビル)	06-6459-0120
(株)沖中国サービス(広島)	〒731-0138	広島市安佐南区祇園2-9-31	082-871-2601
(株)沖四国サービス(高松)	〒761-8058	高松市勅使町632-4	087-868-3040
(株)沖九州サービス(福岡)	〒815-0035	福岡市南区向野2-9-21	092-512-4197

※各サービス拠点の住所、電話番号は変更される場合がありますので、ご了承ください。
※弊社ホームページでは最新の住所、電話番号を記載しておりますので、こちらもご覧ください。
http://www.okidata.co.jp

プリンタを廃棄したい

お買い上げいただいたプリンタの廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

ケガをするおそれがあります。
このプリンタは重量が約47.5Kgありますので、2人以上で持ち上げてください。

使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みのMICROLINEプリンタの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
下記用紙をコピーし、必要事項を記入してFAX、もしくは、弊社のホームページ(http://www.okidata.co.jp)よりご連絡いただければ、回収におうかがいいたします。

（お願い）
- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ1本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。

皆様のご協力をお願いします。

FAX 024-594-2798

沖データ回収センタ　宛

受付 No.　：
＊ 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

西暦　　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：
ご担当者名　：
ご住所　：
お電話番号　：
回収ご希望日時　：　　　年　　月　　日　　午前／午後　　　時

回収依頼品

イメージドラムカートリッジ	：	個
トナーカートリッジ	：	個
EPトナーカートリッジ	：	個
定着器オイルローラ	：	個
廃棄トナーボックス	：	個
ベルトユニット	：	個
定着器ユニット	：	個
インクリボンカートリッジ	：	個
その他マイクロライン消耗品	：	個

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

付録